泉大津市

決裁日　30 年 4 月 3 日

支出命令書（一般）

市長	副市長	教育長	部長	次長	課長	課長補佐	係長	担当者
＊＊	＊＊	＊＊	＊＊	＊＊				

会計管理者	会計課長	課長補佐	係長	担当者	入力	財政課合議	検収者
		＊＊	＊＊			＊＊	

起票日	平成 30年 4月 3日	所属	080100 市議会事務局
年度	平成 30 年度	会計	01 一般会計
予算区分	0 現年度		

科目	
款	01 議会費
項	01 議会費
目	01 議会費
事業	040000 議会調査研究事業
節	19 負担金、補助及び交付金
細節	90 その他
細々節	06 政務活動費

		控除			タイムカード(出勤簿)確認	
金額	7,300 円		所得税	0 円		
支払回数	1 回		雇用保険料	0 円	源泉徴収確認	
負担行為額	600,000 円		その他	0 円	被服貸与台帳記載確認	
支出命令済額	7,300 円		控除額合計	0 円	通勤経路及び金額確認	
負担行為残額	592,700 円	請求書番号				
源泉支払内容	**********					

件名	4/19～4/20　平成30年度市町村議会議員研修　参加負担金
摘要	

債権者等				
支払方法	21 現金払	支払希望日	平成30年4月16日	
住所				
名称	維新蒼風会代表者　井阪　正信			
役職等/氏名				
銀行/口座				
口座名義人		債権者番号		

領収			
住所		領収印	
氏名	維新蒼風会代表者　井阪　正信		

上記の金額を領収しました。　平成30年4月16日

支払済

平成　年　月　日

泉大津市　会計管理者　あて

支出負担行為確認

001

負担行為番号

30-000190

伝票番号

30-000114

呼出番号

00084884

整理番号

30-000007-01

30 01 01-01-01 04-00-00 19-90-06

30.4.-3

供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	係員
覧								

別記様式第５号（第４条関係）

政務活動費交付請求書

平成３０年　４月　２日

泉大津市長
南　出　賢　一　　様
（泉大津市議会議長経由）

会 派 名　　維新蒼風会
代表者名　　井阪　正信　　印

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第４条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	7,300円		
内訳	平成30年度市町村議会議員研修「2日間コース」住民とのコミュニケーション～対話と発言の向上～		
支払先	（公財）全国市町村研修財団　全国市町村国際文化研修所 平成30年4月19日（木）～20日（金）		
予算科目	研究研修費	交付残額	592,700円
使用者名	井阪　正信		

全国研第94号
平成30年3月19日

大阪府 泉大津市議会議長様

公益財団法人全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所
学長 松 﨑 茂
滋賀県大津市唐崎二丁目13番１号

研修受講の決定について

先にお申込みいただきました貴所属議員の研修受講について、次のとおり決定しましたので、お知らせいたします。
つきましては、以下の事項にご留意のうえ、所要の事務手続等についてよろしくお願いします。

氏名	井阪 正信
コース名	平成30年度市町村議会議員研修［２日間コース］住民とのコミュニケーション～対話と発信力の向上～
研修期間	平成30年4月19日（木） ～ 4月20日（金）

1 研修受講に要する経費の納入について

下記金額を指定期間内に指定口座へ振り込んでください。
なお、本決定通知をもって請求書に代えさせていただき、別途請求書は発行しません。

(1) 納入金額：7,300円 〈内訳〉 研修費(@1,200) 2,400円
食費 2,650円
研修生活動費 2,250円

(2) 指定期間: 平成30年4月10日（火） ～ 4月16日（月）

(3) 指定口座：[redacted]

注１） 振込依頼書の「ご依頼人氏名欄」は、必ず貴団体名を記入してください。
注２） 貴団体からの振込通知書の送付は不要です。

受付
第 号
30. 3. 20
泉大津市議会
事務局

平成30年度市町村議会議員研修［2日間コース］
住民とのコミュニケーション～対話と発信力の向上～

（敬称略）

月日	曜日	1時限 （9：25-10：35）	2時限 （10：50-12：00）	3時限 （13：00-14：10）	4時限 （14：25-15：35）	5時限 （15：50-17：00）	課外 （17：00-）
4/19	木		11:00-12:00 受付 11:30- 昼食 12:30- 開講式・ オリエンテーション	【講義・演習】 住民とのコミュニケーションⅠ 京都造形芸術大学副学長 特定非営利活動法人学習学協会 代表理事 本間　正人			17:30- 交流会
4/20	金	【講義・演習】 住民とのコミュニケーションⅡ 京都造形芸術大学副学長 特定非営利活動法人学習学協会 代表理事 本間　正人			14:10-14:25 閉講、事務連絡		

◎日程は、都合により変更になる場合があります。

（平成30年3月19日現在）

研修担当：[redacted]、[redacted]

振込金（兼手数料）受取書
による振込受付書

（窓口でご利用ください）

振込手数料受取書

ご依頼日	30 04 16 年 月 日	振込指定日	年 月 日

お振込先

銀行名 漢字	[redacted] 銀行	支店名 漢字	[redacted] 支店
銀行名 カナ	[redacted]	支店名 カナ	[redacted]
預金種目	[redacted] 1. 普通 4. 貯蓄 2. 当座 9.	口座番号	[redacted]
お振込指定	1 1. 電信	消費税等 込手数料	円

お受取人

フリカナ	[redacted]
漢字	[redacted] 様
金額	¥7,300

小切手等	百万	千	円

1. 振込資金に小切手等がある場合には、その決済を確認したのちにお振込いたします。
2. 上記小切手等が不渡となったときは、その小切手等は権利保全の手続きをしないで、当店において返却いたします。

ご依頼人

ご依頼人コード	
フリカナ	イズミオオツシギカイシツムキョク
漢字	泉大津市議会事務局 様
おところ	泉大津市東雲町 9-12
日中のご連絡先	☎(0725)(33)(1131)

お引落口座

科目	1. 普通 貯蓄	摘要コード	011
口座番号			

振込依頼書に記載相違等の不備があった場合には、照会等のために振込が遅延することがあります。

やむを得ない事由による通信機器、回線の障害または郵便物の遅延等によって振込が遅延することがありますのてご了承ください。

ご指定の口座から預金を払戻して振込む場合、その払戻しができないときは振込はできませんのてご注意ください。

振込の依頼内容の変更や依頼を取りやめる場合には、取扱店の窓口において、当社所定の訂正または組戻手続により取扱します。この場合、組戻しの受付にあたっては、当社所定の組戻手数料をいただきますので、詳しくは窓口へお問い合わせください。入金口座なし等の事由により振込資金が返戻された場合も同様とします。

次回より早くて便利なATMをご利用いただきますと、手数料がお得になります。

午後2時以降は、窓口が大変混雑いたしますので、お振込は出来るだけ早めにご依頼ください。

10万円を超える現金によるお振込には本人確認書類の提示が必要です。詳しくは窓口へお問い合わせください。

当行をご利用いただきましてありがとうございました。
今後共、よろしくお願い申し上げます。

公金

取扱店
株式会社りそな銀行
210泉大津支店

出納印
30. 4. 16
りそな銀行 泉大津 16

31-202-08-50(2 2)

泉大津市

決裁日　30 年 4月 3日

支出命令書（一般）

市長	副市長	教育長	部長	次長	課長	課長補佐	係長	担当者
＊＊	＊＊	＊＊	＊＊	＊＊				

会計管理者	会計課長	課長補佐	係長	担当者	入力	財政課合議	検収者
		＊＊	＊＊			＊＊	

起票日	平成 30年 4月 3日	所属	080100 市議会事務局
年度	平成 30 年度	会計	01 一般会計
予算区分	0 現年度		

科目	
款	01 議会費
項	01 議会費
目	01 議会費
事業	040000 議会調査研究事業
節	19 負担金、補助及び交付金
細節	90 その他
細々節	06 政務活動費

		控除			タイムカード(出勤簿)確認	
金額	7,300 円		所得税	0 円		
支払回数	2 回		雇用保険料	0 円	源泉徴収確認	
負担行為額	600,000 円		その他	0 円	被服貸与台帳記載確認	
支出命令済額	14,600 円		控除額合計	0 円		
負担行為残額	585,400 円	請求書番号			通勤経路及び金額確認	
源泉支払内容	**********					

件名	4/19～4/20　平成30年度市町村議会議員研修　参加負担金
摘要	

債権者等				
支払方法	21 現金払	支払希望日	平成30年4月16日	
住所				
名称	維新蒼風会代表者　井阪　正信			
役職等/ 氏名				
銀行/ 口座				
口座名義人		債権者番号		

領収			
住所		領収印	
氏名	維新蒼風会代表者　井阪　正信		

上記の金額を領収しました。

平成30年4月16日

平成　年　月　日

泉大津市　会計管理者　あて

支払済

支出負担行為確認

001

負担行為番号
30-000190

伝票番号
30-000115

呼出番号
00084888

整理番号
30-000007-02

30 01 01-01-01 04-00-00 19-90-06

30.4.-3

供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	係員
覧								

別記様式第５号（第４条関係）

政務活動費交付請求書

平成３０年　４月　２日

泉大津市長
南　出　賢　一　　様
（泉大津市議会議長経由）

会 派 名　　維新蒼風会
代表者名　　井阪　正信　印

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第４条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	7,300円		
内訳	平成30年度市町村議会議員研修「2日間コース」住民とのコミュニケーション～対話と発言の向上～		
支払先	（公財）全国市町村研修財団　全国市町村国際文化研修所 平成30年4月19日（木）～20日（金）		
予算科目	研究研修費	交付残額	585,400円
使用者名	草刈　与志子		

全国研第94号
平成30年3月19日

大阪府 泉大津市議会議長様

公益財団法人全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所
学長 松 﨑 茂
滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号

研修受講の決定について

先にお申込みいただきました貴所属議員の研修受講について、次のとおり決定しましたので、お知らせいたします。
つきましては、以下の事項にご留意のうえ、所要の事務手続等についてよろしくお願いします。

氏名	草刈 与志子
コース名	平成30年度市町村議会議員研修［２日間コース］住民とのコミュニケーション～対話と発信力の向上～
研修期間	平成30年4月19日（木） ～ 4月20日（金）

1 研修受講に要する経費の納入について

下記金額を指定期間内に指定口座へ振り込んでください。
なお、本決定通知をもって請求書に代えさせていただき、別途請求書は発行しません。

(1) 納入金額：7,300円 〈内訳〉 研修費(@1,200) 2,400円
食費 2,650円
研修生活動費 2,250円

(2) 指定期間: 平成30年4月10日（火） ～ 4月16日（月）

(3) 指定口座：[redacted]

注１） 振込依頼書の「ご依頼人氏名欄」は、必ず貴団体名を記入してください。
注２） 貴団体からの振込通知書の送付は不要です。

平成30年度市町村議会議員研修［2日間コース］
住民とのコミュニケーション～対話と発信力の向上～

（敬称略）

月日	曜日	1時限 （9：25-10：35）	2時限 （10：50-12：00）	3時限 （13：00-14：10）	4時限 （14：25-15：35）	5時限 （15：50-17：00）	課外 （17：00-）
4/19	木		11:00-12:00 受付 11:30- 昼食 12:30- 開講式・ オリエンテーション	【講義・演習】 住民とのコミュニケーションⅠ 京都造形芸術大学副学長 特定非営利活動法人学習学協会 代表理事 本間　正人			17:30- 交流会
4/20	金	【講義・演習】 住民とのコミュニケーションⅡ 京都造形芸術大学副学長 特定非営利活動法人学習学協会 代表理事 本間　正人			14:10-14:25 閉講、事務連絡		

◎日程は、都合により変更になる場合があります。

（平成30年3月19日現在）

研修担当：[redacted]、[redacted]

振込金（兼手数料）受取書

~~口座振替・~~ ~~払込~~ ~~振込受付書~~

（控）振込手数料受取書

ご依頼日	30 04 16 年 月 日	振込指定日	年 月 日

お振込先	銀行名 漢字 [redacted]	銀行		支店名 漢字 [redacted]	支店
	銀行名 カナ [redacted]			支店名 カナ [redacted]	
	預金種目 [redacted] 1.普通 4.新貯 2.当座 9.[redacted]	口座番号 [redacted]		お振込指定 1 1.電信	消費税等込手数料 円

お受取人	フリカナ [redacted]	金額	十億	億	千万	百万	十万	万	¥	7,300	千	百 十 円
	漢字 [redacted] 様											

小切手等								百万	千	円

1. 振込資金に小切手等がある場合には、その決済を確認したのちにお振込いたします。
2. 上記小切手等が不渡となったときは、その小切手等は権利保全の手続きをしないで、当店において返却いたします。

ご依頼人	ご依頼人コード									
	フリカナ	イ	ス	ミ	オ	オ	ツ	シ	キ	カイシツ
		ム	キ	ョ	ク					
	漢字 泉大津市議会事務局 様									
	おところ 泉大津市東雲町9-12 日中のご連絡先 ☎(0725)(33)(1131)									

お引落口座	科目	1.普通 貯蓄	摘要コード	0	1 1
	口座番号				

振込依頼書に記載相違等の不備があった場合には、照会等のために振込が遅延することがあります。

やむを得ない事由による通信機器、回線の障害または郵便物の遅延等によって振込が遅延することがありますのでご了承ください。

ご指定の口座から預金を払戻して振込む場合、その払戻しができないときは振込はできませんのでご注意ください。

振込の依頼内容の変更や依頼を取りやめる場合には、取扱店の窓口において、当社所定の訂正または組戻手続により取扱します。この場合、組戻しの受付にあたっては、当社所定の組戻手数料をいただきますので、詳しくは窓口へお問い合わせください。入金口座なし等の事由により振込資金が返戻された場合も同様とします。

次回より早くて便利なATMをご利用いただきますと、手数料がお得になります。

午後2時以降は、窓口が大変混雑いたしますので、お振込は出来るだけ早めにご依頼ください。

10万円を超える現金によるお振込には本人確認書類の提示が必要です。詳しくは窓口へお問い合わせください。

当行をご利用いただきましてありがとうございました。
今後共、よろしくお願い申し上げます。

取扱店
株式会社りそな銀行
210泉大津支店

出納印 30. 4. 16 りそな銀行 泉大津 16

泉大津市

決裁日　30　年　4　月　3　日

支出命令書（一般）

市長	副市長	教育長	部長	次長	課長	課長補佐	係長	担当者
＊＊	＊＊	＊＊	＊＊	＊＊				

会計管理者	会計課長	課長補佐	係長	担当者	入力	財政課合議	検収者	
		＊＊	＊＊			＊＊		

起票日	平成 30年 4月 3日	所属	080100 市議会事務局
年度	平成 30 年度	会計	01 一般会計
予算区分	0 現年度		

科目	
款	01 議会費
項	01 議会費
目	01 議会費
事業	040000 議会調査研究事業
節	19 負担金、補助及び交付金
細節	90 その他
細々節	06 政務活動費

		控除		
金額	7,300 円		所得税	0 円
支払回数	3 回		雇用保険料	0 円
負担行為額	600,000 円		その他	0 円
支出命令済額	21,900 円		控除額合計	0 円
負担行為残額	578,100 円	請求書番号		
源泉支払内容	**********			

タイムカード(出勤簿)確認	
源泉徴収確認	
被服貸与台帳記載確認	
通勤経路及び金額確認	

件名	4/25～4/26　平成30年度市町村議会議員研修　参加負担金
摘要	

債権者等			
支払方法	21 現金払	支払希望日	平成30年4月16日
住所			
名称	維新蒼風会代表者　井阪　正信		
役職等/ 氏名			
銀行/ 口座			
口座名義人		債権者番号	

領収			
住所		領収印	
氏名	維新蒼風会代表者　井阪 正信		

上記の金額を領収しました。　平成30年4月16日

平成　　年　　月　　日

泉大津市　会計管理者　あて

支払済

支出負担行為確認

No. 001

負担行為番号
30-000190

伝票番号
30-000116

呼出番号
00084893

整理番号
30-000007-03

30 01 01-01-01 04-00-00 19-90-06

供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	係員
覧								

別記様式第５号（第４条関係）

政務活動費交付請求書

平成３０年　４月　２日

泉大津市長
南　出　賢　一　　様
（泉大津市議会議長経由）

会 派 名　　維新蒼風会
代表者名　　井阪　正信　印

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第４条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	7,300円		
内訳	平成30年度市町村議会議員研修「2日間コース」第1回自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査～		
支払先	（公財）全国市町村研修財団　全国市町村国際文化研修所 平成30年4月25日（水）～26日（木）		
予算科目	研究研修費	交付残額	578,100円
使用者名	井阪　正信		

全国研第 101 号
平成30年3月20日

大阪府 泉大津市議会議長様

公益財団法人全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所
学長 松 﨑 茂
滋賀県大津市唐崎二丁目13番１号

研修受講の決定について

先にお申込みいただきました貴所属議員の研修受講について、次のとおり決定しましたので、お知らせいたします。
つきましては、以下の事項にご留意のうえ、所要の事務手続等についてよろしくお願いします。

氏名	井阪 正信
コース名	平成30年度市町村議会議員研修［２日間コース］第1回自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査～
研修期間	平成30年4月25日（水） ～ 4月26日（木）

1 研修受講に要する経費の納入について

下記金額を指定期間内に指定口座へ振り込んでください。
なお、本決定通知をもって請求書に代えさせていただき、別途請求書は発行しません。

(1) 納入金額：7,300円 〈内訳〉 研修費(@1,200) 2,400円
食費 2,650円
研修生活動費 2,250円

(2) 指定期間: 平成30年4月16日（月） ～ 4月20日（金）

(3) 指定口座：[redacted]

注１） 振込依頼書の「ご依頼人氏名欄」は、必ず貴団体名を記入してください。
注２） 貴団体からの振込通知書の送付は不要です。

平成30年度　市町村議会議員研修[2日間コース]
「第1回自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査～」時間割

（敬称略）

月日	曜日	1時限 (9：25-10：35)	2時限 (10：50-12：00)	3時限 (13：00-14：10)	4時限 (14：25-15：35)	5時限 (15：50-17：00)	課外 (17：00-)
4/25	水		11:00-12:00 受付 11:30- 昼食 12:30- 開講オリエンテーション 入寮オリエンテーション	【講義】 決算の意義と審査のポイント 関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科 教授　稲沢　克祐		【演習】 (15:50-18:00) 途中休憩10分 決算審査の実践	18:15- 交流会
			【講堂】	【講堂】		【講堂】	【大食堂】
4/26	木	【講義】理論編 決算審査の新しいアプローチ 関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科 教授　稲沢　克祐		【講義】実践編 (13:00-15:00)途中休憩10分 行政評価等を用いた 決算審査の実践	15：00-15：15 閉講・事務連絡		
		【講堂】		【講堂】			

◎日程は、都合により変更になる場合があります。

名札：○色　研修担当：[redacted]

振込金（兼手数料）受取書

[redacted]による振込受付書

ご依頼日	30 04 16 （年 月 日）
振込指定日	（年 月 日）

お振込先

銀行名 漢字	[redacted] 銀行
銀行名 カナ	[redacted]
支店名 漢字	[redacted] 支店
支店名 カナ	[redacted]
預金種目	[redacted]
口座番号	[redacted]
お振込指定	1 1. 電信
消費税等 込手数料	円

お受取人

フリカナ	[redacted]
漢字	[redacted] 様
金額	¥7,300

小切手等	

1 振込資金に小切手等がある場合には、その決済を確認したのちにお振込いたします。
2 上記小切手等が不渡となったときは、その小切手等は債権保全の手続きをしないで、当店において返却いたします。

ご依頼人

ご依頼人コード	
フリカナ	イズミオオツシキガイシャ
	ムキョク
漢字	泉大津市議会事務局 様
おところ	泉大津市東雲町 9-12
日中のご連絡先	☎(0725)(33)(1131)

お引落口座

科目	1. 普通預金
振替コード	0 1 1
口座番号	

振込依頼書に記載相違等の不備があった場合には、照会等のために振込が遅延することがあります。

やむを得ない事由による通信機器、回線の障害または郵便物の遅延等によって振込が遅延することがありますのでご了承ください。

ご指定の口座から預金を払戻して振込む場合、その払戻しができないときは振込はできませんのでご注意ください。

振込の依頼内容の変更・依頼を取りやめる場合には、取扱店の窓口において、当社所定の訂正または組戻手続により承ります。この場合、組戻しの手続にあたっては、当社所定の組戻手数料をいただきますので、詳しくは窓口へお問い合わせください。入金口座なし等の事由により振込資金が返金された場合も同様とします。

当行をご利用いただきまして ありがとうございました。
今後とも よろしくお引き立て申し上げます

公金

株式会社 りそな銀行
泉大津支店

出納
30. 4. 16
りそな銀行
泉大津
16

31-202-08-50(2 2)

泉大津市

決裁日　30年 4月 3日

支出命令書（一般）

市長	副市長	教育長	部長	次長	課長	課長補佐	係長	担当者
＊＊	＊＊	＊＊	＊＊	＊＊				

会計管理者	会計課長	課長補佐	係長	担当者	入力	財政課合議	検収者	
		＊＊	＊＊			＊＊		

起票日	平成 30年 4月 3日	所属	080100 市議会事務局
年度	平成 30 年度	会計	01 一般会計
予算区分	0 現年度		

科目		
	款	01 議会費
	項	01 議会費
	目	01 議会費
	事業	040000 議会調査研究事業
	節	19 負担金、補助及び交付金
	細節	90 その他
	細々節	06 政務活動費

金額	7,300 円
支払回数	4 回
負担行為額	600,000 円
支出命令済額	29,200 円
負担行為残額	570,800 円
源泉支払内容	**********

控除		
所得税	0 円	
雇用保険料	0 円	
その他	0 円	
控除額合計	0 円	

請求書番号

タイムカード(出勤簿)確認	
源泉徴収確認	
被服貸与台帳記載確認	
通勤経路及び金額確認	

件名	研究研修費　4/25～4/26　平成30年度市町村議会議員研修　参加負担金

摘要	

債権者等				
	支払方法	21 現金払	支払希望日	平成30年4月16日
	住所			
	名称	維新蒼風会代表者　井阪　正信		
	役職等/氏名			
	銀行/口座			
	口座名義人		債権者番号	

領収			
	住所		領収印
	氏名	維新蒼風会代表者　井阪 正信	

上記の金額を領収しました　平成30年4月16日

泉大津市　会計管理者　あて

支払済

支出負担行為確認

負担行為番号
30-000190

伝票番号
30-000117

整理番号
30-000007-04

呼出番号
00085018

30 01 01-01-01 04-00-00 19-90-06

30.4.-3

供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	係員
覧								

別記様式第５号（第４条関係）

政務活動費交付請求書

平成３０年　４月　２日

泉大津市長
南　出　賢　一　　様
（泉大津市議会議長経由）

会 派 名　　維新蒼風会
代表者名　　井阪　正信　印

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第４条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	7,300円		
内訳	平成30年度市町村議会議員研修「2日間コース」第1回自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査～		
支払先	（公財）全国市町村研修財団　全国市町村国際文化研修所 平成30年4月25日（水）～26日（木）		
予算科目	研究研修費	交付残額	570,800円
使用者名	草刈　与志子		

全国研第 101 号
平成30年3月20日

大阪府 泉大津市議会議長様

公益財団法人全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所
学長 松 﨑 茂
滋賀県大津市唐崎二丁目13番１号

研修受講の決定について

先にお申込みいただきました貴所属議員の研修受講について、次のとおり決定しましたので、お知らせいたします。
つきましては、以下の事項にご留意のうえ、所要の事務手続等についてよろしくお願いします。

氏名	草刈 与志子
コース名	平成30年度市町村議会議員研修［２日間コース］第1回自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査～
研修期間	平成30年4月25日（水） ～ 4月26日（木）

1 研修受講に要する経費の納入について

下記金額を指定期間内に指定口座へ振り込んでください。
なお、本決定通知をもって請求書に代えさせていただき、別途請求書は発行しません。

(1) 納入金額：7,300円 〈内訳〉 研修費(@1,200) 2,400円
食費 2,650円
研修生活動費 2,250円

(2) 指定期間: 平成30年4月16日（月） ～ 4月20日（金）

(3) 指定口座：[redacted]

注１） 振込依頼書の「ご依頼人氏名欄」は、必ず貴団体名を記入してください。
注２） 貴団体からの振込通知書の送付は不要です。

受付
第 号
30. 3. 22
泉大津市議会
事務局

平成30年度　市町村議会議員研修[2日間コース]
「第1回自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査～」時間割

（敬称略）

月日	曜日	1時限 (9：25-10：35)	2時限 (10：50-12：00)	3時限 (13：00-14：10)	4時限 (14：25-15：35)	5時限 (15：50-17：00)	課外 (17：00-)
4/25	水		11:00-12:00 受付 11:30- 昼食 12:30- 開講オリエンテーション 入寮オリエンテーション	【講義】 決算の意義と審査のポイント 関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科 教授　稲沢　克祐		【演習】 (15:50-18:00) 途中休憩10分 決算審査の実践	18:15- 交流会
			【講堂】	【講堂】		【講堂】	【大食堂】
4/26	木	【講義】理論編 決算審査の新しいアプローチ 関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科 教授　稲沢　克祐		【講義】実践編 (13:00-15:00)途中休憩10分 行政評価等を用いた 決算審査の実践	15：00-15：15 閉講・事務連絡		
		【講堂】		【講堂】			

◎日程は、都合により変更になる場合があります。

名札：○色　研修担当：[redacted]

振込金（兼手数料）受取書

[redacted]

ご依頼日	30.4.16	振込指定日	年 月 日
お振込先 銀行名	[redacted] 銀行	支店名	[redacted] 支店
銀行カナ	[redacted]	支店名カナ	[redacted]
預金種目	[redacted]	口座番号	[redacted]
お振込指定	1. 電信	消費税等込手数料	円
お受取人 フリカナ	[redacted]	金額	¥7,300
漢字	[redacted] 様		
ご依頼人コード			
ご依頼人 フリカナ	イズミオオツシキヴカイシヤ ムキヨク		
漢字	泉大津市議会事務局 様	おところ	泉大津市東雲町9-12
		日中のご連絡先	電(0725)(33)(1131)

小切手等		百万	千 円

1. 振込資金に小切手等がある場合には、その決済を確認したのちにお振込いたします。
2. 上記小切手等が不渡となったときは、その小切手等は権利保全の手続きをしないで、当店において返却いたします。

お引落口座 科目	1. 普通 貯蓄	地区コード	011
口座番号			

振込依頼書に記載相違等の不備があった場合には、照会等のために振込が遅延することがあります。

やむを得ない事由による通信機器、回線の障害または郵便物の遅延等によって振込が遅延することがありますのでご了承ください。

ご指定の口座から預金を払戻して振込む場合、その払戻しができないときは振込はできませんのでご注意ください。

振込の依頼内容の変更や取消を取りやめる場合には、取扱店の窓口において、当社所定の訂正または組戻手続により取扱います。なお、組戻しの受付にあたっては、当社所定の組戻手数料をいただきますので、詳しくはお早めにお問い合わせください。入金口座なし等の事由により振込資金が返戻された場合も同様とします。

[redacted]

当行をご利用いただきましてありがとうございました
今後共、よろしくお願い申し上げます。

公金

株式会社 りそな銀行

出納 30.4.16 りそな銀行 泉大津 16

泉大津市

決裁日　30 年 4 月 9 日

支出命令書（一般）

市長	副市長	教育長	部長	次長	課長	課長補佐	係長	担当者
＊＊	＊＊	＊＊	＊＊	＊＊				

会計管理者	会計課長	課長補佐	係長	担当者	入力	財政課合議	検収者	
		＊＊				＊＊		

起票日	平成 30年 4月 6日	所属	080100 市議会事務局
年度	平成 30 年度	会計	01 一般会計
予算区分	0 現年度		

科目		
	款	01 議会費
	項	01 議会費
	目	01 議会費
	事業	040000 議会調査研究事業
	節	19 負担金、補助及び交付金
	細節	90 その他
	細々節	06 政務活動費

		控除			
金額	3,040 円		所得税	0 円	タイムカード(出勤簿)確認	
支払回数	5 回		雇用保険料	0 円	源泉徴収確認	
負担行為額	600,000 円		その他	0 円	被服貸与台帳記載確認	
支出命令済額	32,240 円		控除額合計	0 円	通勤経路及び金額確認	
負担行為残額	567,760 円	請求書番号				
源泉支払内容	**********					

件名	旅費　4/19～4/20　平成30年度市町村議会議員研修　住民とのコミュニケーション～対話と発信の向上～
摘要	

債権者等				
	支払方法	21 現金払	支払希望日	平成30年4月18日
	住所			
	名称	維新蒼風会代表者　井阪　正信		
	役職等/ 氏名			
	銀行/ 口座			
	口座名義人		債権者番号	

領収			
	住所		領収印
	氏名	維新蒼風会代表者　井阪 正信	

上記の金額を領収しました。

平成 30年 4月 18日

泉大津市　会計管理者　あて

支払済

支出負担行為確認

001

負担行為番号
30-000190

伝票番号
30-000217

呼出番号
00086768

整理番号
30-000007-05

30 01 01-01-01 04-00-00 19-90-06

供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	係員
覧								

別記様式第５号（第４条関係）

政務活動費交付請求書

平成３０年　４月　６日

泉大津市長
南　出　賢　一　様
（泉大津市議会議長経由）

会 派 名　　維新蒼風会
代表者名　　井阪　正信　　印

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第４条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	３，０４０円		
内訳	4/19～4/20　平成30年度市町村議会議員研修「2日間コース」 住民とのコミュニケーション～対話と発言の向上～ 参加旅費		
支払先	井阪　正信		
予算科目	旅　費	交付残額	567,760円
使用者名	井阪　正信		

全国研第94号
平成30年3月19日

大阪府 泉大津市議会議長様

公益財団法人全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所
学長 松 﨑 茂
滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号

研修受講の決定について

先にお申込みいただきました貴所属議員の研修受講について、次のとおり決定しましたので、お知らせいたします。
つきましては、以下の事項にご留意のうえ、所要の事務手続等についてよろしくお願いします。

氏名	井阪 正信
コース名	平成30年度市町村議会議員研修［2日間コース］住民とのコミュニケーション～対話と発信力の向上～
研修期間	平成30年4月19日（木） ～ 4月20日（金）

1 研修受講に要する経費の納入について

下記金額を指定期間内に指定口座へ振り込んでください。
なお、本決定通知をもって請求書に代えさせていただき、別途請求書は発行しません。

(1) 納入金額：7,300円 〈内訳〉 研修費(@1,200) 2,400円
食費 2,650円
研修生活動費 2,250円

(2) 指定期間: 平成30年4月10日（火） ～ 4月16日（月）

(3) 指定口座：[redacted]

注1） 振込依頼書の「ご依頼人氏名欄」は、必ず貴団体名を記入してください。
注2） 貴団体からの振込通知書の送付は不要です。

受付
第 号
30. 3. 20
泉大津市議会
事務局

平成30年度市町村議会議員研修［2日間コース］
住民とのコミュニケーション～対話と発信力の向上～

（敬称略）

月日	曜日	1時限 （9：25-10：35）	2時限 （10：50-12：00）	3時限 （13：00-14：10）	4時限 （14：25-15：35）	5時限 （15：50-17：00）	課外 （17：00-）
4/19	木		11:00-12:00 受付 11:30- 昼食 12:30- 開講式・ オリエンテーション	【講義・演習】 住民とのコミュニケーションⅠ 京都造形芸術大学副学長 特定非営利活動法人学習学協会 代表理事 本間　正人			17:30- 交流会
4/20	金	【講義・演習】 住民とのコミュニケーションⅡ 京都造形芸術大学副学長 特定非営利活動法人学習学協会 代表理事 本間　正人			14:10-14:25 閉講、事務連絡		

◎日程は、都合により変更になる場合があります。

（平成30年3月19日現在）

研修担当：[redacted]、[redacted]

平成30年度

出 張 申 請 書

（出 張）

会派名	維新蒼風会	氏名	井阪 正信
出発・帰庁年月日	出発 30年4月19日	帰庁 30年4月20日	

出張先（順路）　全国市町村国際文化研究所（滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号）

目的及び用件　平成30年度市町村議会議員研修［2日間コース］住民とのコミュニケーション～対話と発信力の向上～に参加

区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津	km			円	円	円	円	円
｜（南海本線）		円	円					
新今宮		380						380
〃								
｜（JR大阪環状線）								
大阪	10.0							
〃								
｜（JR東海道本線）								
山科	48.3 ～ 66.8	1,140						1,140
〃								
｜（JR湖西線）								
唐崎	8.5							
〃								
｜（　　線）								
復路		1,520						1,520
｜（　　線）								
							計	3,040
｜（　　線）								
｜（　　線）								
｜（　　線）								
｜（　　線）								
｜（　　線）								
｜（　　線）								

宿泊料：別途、負担金として納入
日　当：滋賀県のため支給なし

主管課用

平成30年度

領収書兼旅費明細書

（出　張）

会派名	維新蒼風会	氏名	井阪　正信
出発・帰庁年月日	出発　30年4月19日	帰庁　30年4月20日	

出張先（順路）　全国市町村国際文化研究所（滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号）

目的及び用件　平成30年度市町村議会議員研修［2日間コース］住民とのコミュニケーション～対話と発信力の向上～に参加

区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津	km			円	円	円	円	円
｜（南海本線）		円	円					
新今宮		380						380
〃								
｜（JR大阪環状線）								
大阪	10.0							
〃								
｜（JR東海道本線）								
山科	48.3 ～ 66.8	1,140						1,140
〃								
｜（JR湖西線）								
唐崎	8.5							
〃								
｜（　　線）								
復路		1,520						1,520
｜（　　線）								
							計	3,040
｜（　　線）								
｜（　　線）								
｜（　　線）								
｜（　　線）								
｜（　　線）								
｜（　　線）								

宿泊料：別途、負担金として納入
日　当：滋賀県のため支給なし

右の金額領収いたしました。

金額			¥	千	3	0	4	0	円

平成 30 年 4 月 18 日

職名　維新蒼風会

泉大津市会計管理者　殿

氏名　井阪　正信　印

□決　裁　　■供　覧

受発記号・番号		収受年月日	平成30年5月24日
差出名	井阪　正信		
あて名	泉大津市議会議長	提出期限	
収受文書の記号		収受文書の日付	平成30年4月24日
件名	報告書		

議長	副議長	事務局長	次長	合議				
主管 次長補佐	議事調査係長	庶務係長	係員					

処　理　上　の　意　見　及　び　注　意　事　項

日　時：平成３０年４月１９日（木）～４月２０日（金）

出張先：公益財団法人　全国市町村研修財団　全国市町村国際文化研修所（JIAM）

目　的：市町村議会議員研修　受講

（研修名　住民とのコミュニケーション～対話と発信力の向上～）

会派代表

報　　告　　書

平成３０年４月２４日

泉大津市議会議長　様

（会派名）　　維新蒼風会
出張者氏名　　井阪　正信　　印

下記により出張しましたので、その概要について報告いたします。

記

1.日　　時　　平成３０年４月１９日（木）～４月２０日（金）

2.出 張 先　　滋賀県大津市唐崎２－１３－１
　　公益財団法人　全国市町村研修財団
　　全国市町村国際文化研修所(JIAM)

3.目　　的　　市町村議会議員研修　受講
　　研修名　　住民とのコミュニケーション
　　～対話と発信力の向上～

4.報告事項　　別紙添付・資料添付

報告事項

４月１９日(木) １３:００～１７:００

住民とのコミュニケーションについて、京都造形芸術大学副学長・特定営利活動法人学習学協会代表理事でもある本間正人氏から講義と演習を受けた。　最初に、学習学については、よく最終学歴というが、大切なのは、最新学習歴ではないかということであった。最終学歴という学び終わりではなく、今何をしていくかということの方が大切であるとのことであった。私自身も、最新学習歴がより重要であると思った。

また、学校教育においても、日本では検定制度があるので教科書では約３年遅れてしまう、これは紙媒体での限界であるとの考えである。

情報や時代の変化の速さに追いついていないのが実情であるとのことであった。

研修のテーマでもある、住民とのコミュニケーション・対話と受発信力の向上については座学と演習を行うことにより、非常に理解しやすい内容であった。　信頼のエクササイズとして、ブラインドウォークの演習を行った。これは、二人一組で、一方が目を瞑り、一方が言葉で誘導していくというものである。　初対面との方とペアを組むことで、より伝え方の大切さと難しさを感じた。　また、隣席の佐賀県太良町議会議員の方と互いに、印象のみで人物観察をすることや、自己 PR をする演習も行った。これは、１分間という時間設定を設けてすることもあり、簡単なようで難しく感じられた。　また、４人で行う演習では、それぞれの課題について１分間で伝えるそして４人目はそれをまとめるという作業を行った。これは、発信力と受信力の双方のトレーニングになった。

また、講義において、「有能性の証明」の変化についてお聞きした。過去は、戦闘能力であったが、２０世紀においてそれは問題解決能力となり、現在は、①想像力②人間関係③感動・発見に変わってきているとのことであった。　コミュニケーションのとり方について、聴く側の力が大切である、相手を否定しないで聴くことの重要性を言われていて、私自身もそのようにしていかないといけないと感じたところです。

そして、グッドニュースの循環とベストプラクティスの共有も地域においては大切であると思われるところです。

４月２０日(金) ９:２５～１４:１０

前日同様、本間正人氏より、講義・演習を通して、住民とのコミュニケーション・対話と受発信力の向上について研修しました。

前日とは、前後・隣を違う方と着席するようとのことでした。これも、コミュニケーション力をつけるための演習の一つと思いました。

昨日の演習をもとに、アクティブリスニングの３要素(あいづち・うなづき・くりかえし)を踏まえた演習を行いました。やる気グラフをもちいて、自分を表現し伝える事を４人で行いました。　また、我々の街頭演説においてのアドバイスもあり、特に支持者でない方の演説は騒音でしかないとの考え方などは、そうかもしれないと思ったところです。

今回の、研修は非常に理解しやすく、また実践することの大切さや、身近な問題提起、わかり易いアドバイスなども拝聴できたことから、自身にとって吸収するものが多い研修であった。また、他地域の方々との交流から、それぞれのコミュニケーション方法について聞かせていただいたり、情報交換することが出来た。　このことを、今後の議員活動に反映していきたいと思います。

全国市町村国際文化研修所

住民とのコミュニケーション
対話と受発信力の向上

序：教育学から学習学へ

（人間は「学習する存在」（Homo Discens）である。

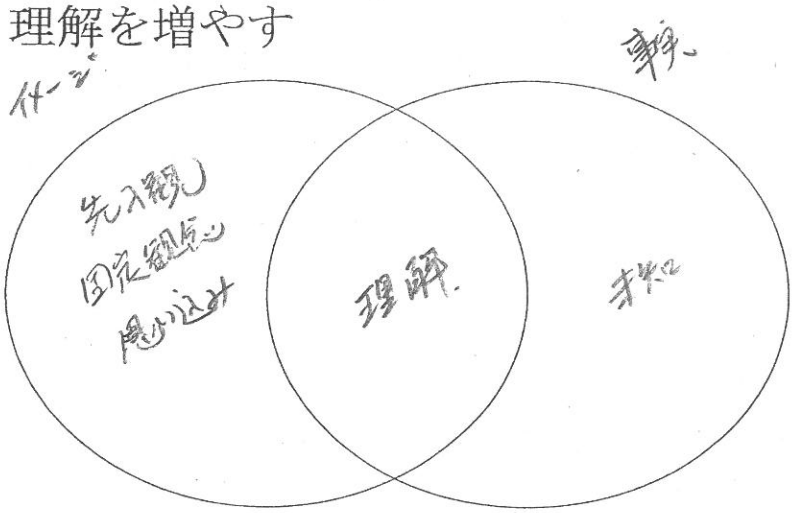
廳　徳

講師：本 間 正 人
京都造形芸術大学 副学長
成人教育学博士（**Ph.D.**）

Copyright: 2018 Masato Homma
http://www.learnology.co.jp

1．コミュニケーションの３つの機能

（１）理解を増やす



＊「住民」って誰？「住民の声」って何？

（２）人間関係に影響を与える

フェイス・トゥ・フェイス・コミュニケーションが基本

人間関係に対する影響度は
言語コミュニケーション ＜ 非言語コミュニケーション
（距離、視線、表情、動作、声）

（３）信頼関係を築く

１）聴く
２）言行一致
３）守秘義務

2．言語コミュニケーションのポイント

（1）相手の立場に立ったわかりやすい指示

（2）急に指示するのではなく予告が大切

（3）相手に合わせて表現を変える

	Teaching	vs	Coaching
B.W.	全員に５メートル と伝える		Ａさん：１２歩 Ｂさん：１０歩 Ｃさん：　８歩

全ての人に同じ内容を
同じ方法で伝える
画一的教育

相手に合わせて
指導内容/指導方法を
変える個別指導

相手に合わせてカスタマイズ
今の相手に合わせてバージョンアップ（upgrade）

（4）何も問題のない時にも
意識的にコミュニケーションをとる

(i)　今、どこにいるのか【現状】
(ii) どこへ行こうとしているのか【目標】

（5）信頼の階段

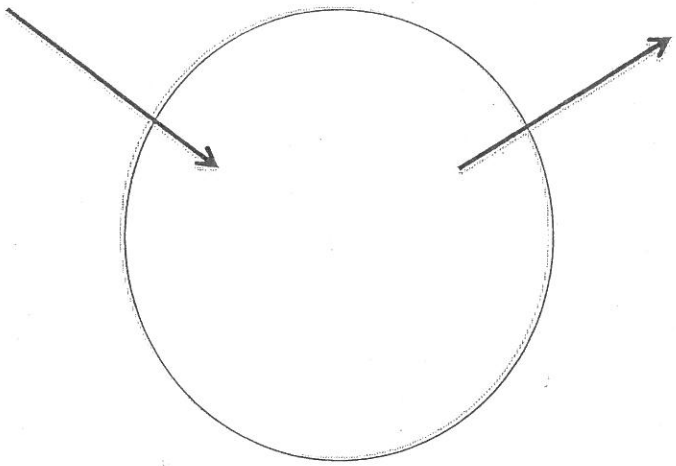
（6）手を離す ＝ 人を育てるポイント

3．コーチングの基本の考え方

COACH の語源 ＝ 「馬車」

COACHING＝「大切な人を望む所まで送り届ける」

＊ 「教え込む」のではなく「引き出す」のがコーチング



<u>３つのスキル</u>

傾聴

質問≠ 詰問（反語）

承認= ほめる

叱る ≠ 怒る

cf. Commanding

（一方的な指示命令）

命がけの状況では機能

一般的には、自発性を引き出さないと人は動かない

<u>コーチングの理念 = 信・認・任</u>

信：人間の可能性を信じる

上司・部下の信頼関係

認：良い所を見て心にとめる

任：適材適所の業務・目標を任せる

4．傾聴のスキル

「共感欲求」vs「有能性の証明欲求」

アクティブリスニングの３要素

あいづち、うなずき、くりかえし

5．質問のスキル「ヒーロー・インタビュー」

参考：本間正人「日経文庫コーチング入門 第２版」

先：インタビュアー

興味・好奇心をフルに発揮する
映像が浮かぶように質問する

後：ヒーロー

一番がんばった時のこと
いきいき、充実感、やりがいを感じた時
成功体験、My Project X
具体的に細かく映像的に話す

＊心と心の通い合うコミュニケーション

1)感情モニタリング　（自分の心の声を聴く）
2)情緒的表現性（感情表現の語彙を増やす）

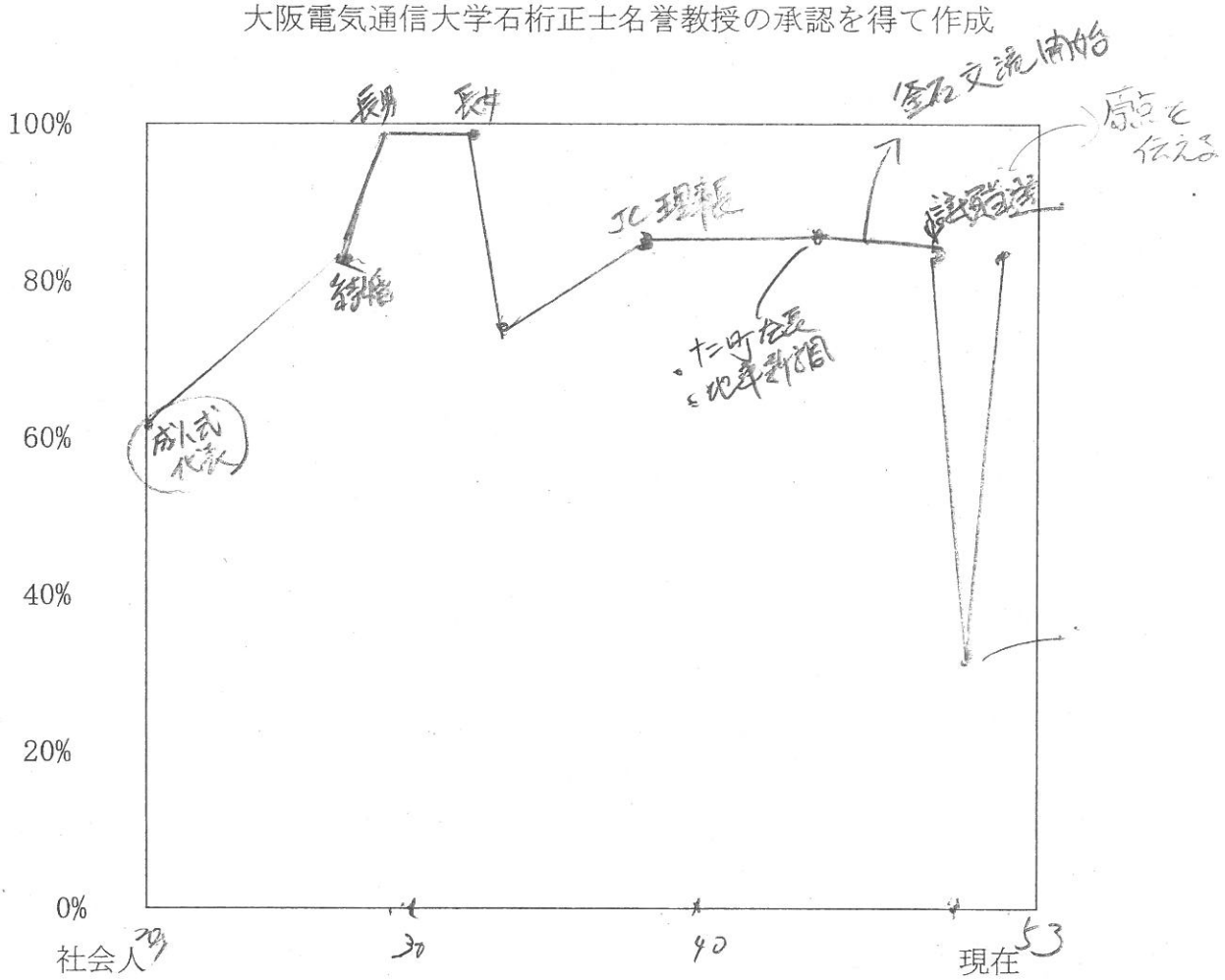
＊「ダイヤモンドの原石」（松下幸之助）

＊「切磋琢磨」（中国の古典「大学」の言葉）

＊ 他者紹介（ベストプラクティスの共有）

6．やる気グラフ

大阪電気通信大学石桁正士名誉教授の承認を得て作成



STEP 1

あなたが社会人になって以来の「やる気」をグラフで表現して下さい。
やる気が最高の状態を１００％、最低を０％とし、主観的に判断して下さい。
横軸の時間のとり方は「適当」でかまいません。
やる気が変化する「きっかけ」もグラフ上に記入して下さい。

STEP 2

「やる気」が出るきっかけとなったのは誰のどんな言葉だったでしょうか？

STEP 3

あなたが「やる気」を出すために、自らどんなことができるでしょうか？

7．承認のスキル「ほめ活かし、ほめ育ての三箇条」

参考図書「決定版 ほめ言葉ハンドブック」（共著）PHP 研究所

1）事実をほめる
2）タイミングよくほめる
3）心をこめてほめる

＊美点凝視

8．効果的な叱り方

参考図書：「人を育てる叱りの技術」ダイヤモンド社

「叱らなくても部下の心をつかむ方法」フォレスト出版

怒る	叱る
感情的反応 reaction	理性的対応 response
現状・人格の否定	然るべきビジョンを示す
禁止の命令文 ～するな ～いけない ～ダメ ネガティブ・イメージ・トレーニング	３つほめて１つ叱る 承認 = 良い所を「見て心にとめる」

９．ダイアローグ

１）聴き合う
２）否定しない
３）視点の幅を広げる→多様性を楽しむ
４）自分の意見を言う

１０．ストレスマネジメントのポイント

参考：「できる人は一週間を 168 時間で考えている」中経出版

5つの原則

１）全体性の回復

２）カタルシス

３）非日常性

４）創作活動

５）洞窟願望

自律神経　＝　交感神経 VS 副交感神経

１）ストレスレベルに気づく

２）小出しにする

３）レパートリーを広げる

１１．問題解決の方法「GROW モデル」

コーチングの典型的な進め方。質問によってクライアント(相手)に考えさせ、相手が自ら答えを導きだすのをサポートします。

参考：本間正人「日経文庫コーチング入門 第２版」

G　Goal　目標の明確化（大目標から中小目標へ）
いつまでにどうなれば望ましいのですか？
やってみたいことは何？
一番発揮したい力はどんな力？
今、優先すべき目標は何ですか？

R　Reality現実把握
今はどんな状況なのですか？
どんな所に力を入れて営業活動をしていますか？
10 点満点で何点？（スケーリング）

Resource 資源の発見（人、物、金、情報、時間）
目標達成のために使えるツールは？
誰かの力を借りられませんか？使える道具は？
都合の良い時間帯は？

O　Options　選択肢の創造
無限の可能性を追求し、ベストの選択肢を選ぶ
どんな方策がありますか？他に？

W　Will　目標達成の意志
やる気の確認（コミットメント）、計画の策定
まずどこから手をつけましょうか？

１２．ブレーンストーミング

数多くのアイディアを出す、否定しない、全員が記録する

1）_____

2）_____

3）_____

4）_____

5）_____

6）_____

7）_____

8）_____

9）_____

10）_____

11）_____

12）_____

13）_____

14）_____

15）_____

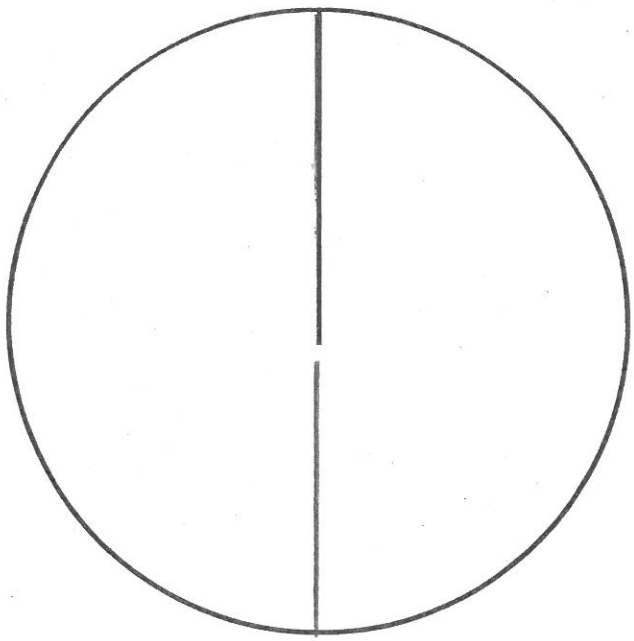
１３．アイデンティティ・ポートフォリオ

Step 1 「～は○○だ」にあてはまる○○をリストアップして下さい

1)
2)
3)
4)
5)
6)
7)
8)
9)
10)
11)
12)
13)
14)
15)
16)
17)
18)
19)
20)

Step 2 主観＆直感的に重要なものを５つくらい選んで下さい

Step 3 主観&直感的に順位をつけ、合計１００％に
なるように円グラフに描いて下さい



１４．まとめ

２日間の研修をふりかえって、印象に残った「３つのキーワード」と
これから実践したい「１つのアクション」をあげて下さい。

「３つのキーワード、キーフレーズ」

（１）

（２）

（３）

「１つのアクション」（できるだけ具体的に）

泉大津市

決裁日　30 年 4 月 9 日

支出命令書（一般）

市長	副市長	教育長	部長	次長	課長	課長補佐	係長	担当者
＊＊	＊＊	＊＊	＊＊	＊＊				

会計管理者	会計課長	課長補佐	係長	担当者	入力	財政課合議	検収者
		＊＊				＊＊	

起票日	平成 30年 4月 6日	所属	080100 市議会事務局
年度	平成 30 年度	会計	01 一般会計
予算区分	0 現年度		

科目		
	款	01 議会費
	項	01 議会費
	目	01 議会費
	事業	040000 議会調査研究事業
	節	19 負担金、補助及び交付金
	細節	90 その他
	細々節	06 政務活動費

		控除		
金額	3,040 円		所得税	0 円
支払回数	6 回		雇用保険料	0 円
負担行為額	600,000 円		その他	0 円
支出命令済額	35,280 円		控除額合計	0 円
負担行為残額	564,720 円	請求書番号		
源泉支払内容	**********			

タイムカード(出勤簿)確認	
源泉徴収確認	
被服貸与台帳記載確認	
通勤経路及び金額確認	

件名	旅費　4/19～4/20　平成30年度市町村議会議員研修　住民とのコミュニケーション～対話と発信の向上～
摘要	

債権者等				
	支払方法	21 現金払	支払希望日	平成30年4月18日
	住所			
	名称	維新蒼風会代表者　井阪　正信		
	役職等/ 氏名			
	銀行/ 口座			
	口座名義人		債権者番号	

領収			
	住所		領収印
	氏名	維新蒼風会代表者　井阪正信	

上記の金額を領収しました。　平成30年4月18日

支払済

平成　年　月　日

泉大津市　会計管理者　あて

支出負担行為確認

001

負担行為番号
30-000190

伝票番号
30-000219

呼出番号
00086771

整理番号
30-000007-06

30 01 01-01-01 04-00-00 19-90-06

30 4 -9

供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	係員
覧								

別記様式第５号（第４条関係）

政務活動費交付請求書

平成３０年　４月　６日

泉大津市長
南　出　賢　一　様
（泉大津市議会議長経由）

会 派 名　　維新蒼風会
代表者名　　井阪　正信　　印

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第４条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	３，０４０円		
内訳	4/19～4/20　平成30年度市町村議会議員研修「2日間コース」 住民とのコミュニケーション～対話と発言の向上～ 参加旅費		
支払先	草刈　与志子		
予算科目	旅　費	交付残額	564,720円
使用者名	草刈　与志子		

全国研第94号
平成30年3月19日

大阪府 泉大津市議会議長様

公益財団法人全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所
学長 松 﨑 茂
滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号

研修受講の決定について

先にお申込みいただきました貴所属議員の研修受講について、次のとおり決定しましたので、お知らせいたします。
つきましては、以下の事項にご留意のうえ、所要の事務手続等についてよろしくお願いします。

氏名	草刈 与志子
コース名	平成30年度市町村議会議員研修［２日間コース］住民とのコミュニケーション～対話と発信力の向上～
研修期間	平成30年4月19日（木） ～ 4月20日（金）

1 研修受講に要する経費の納入について

下記金額を指定期間内に指定口座へ振り込んでください。
なお、本決定通知をもって請求書に代えさせていただき、別途請求書は発行しません。

(1) 納入金額：7,300円 〈内訳〉 研修費(@1,200) 2,400円
食費 2,650円
研修生活動費 2,250円

(2) 指定期間: 平成30年4月10日（火） ～ 4月16日（月）

(3) 指定口座：[redacted]

注１） 振込依頼書の「ご依頼人氏名欄」は、必ず貴団体名を記入してください。
注２） 貴団体からの振込通知書の送付は不要です。

平成30年度市町村議会議員研修［2日間コース］
住民とのコミュニケーション～対話と発信力の向上～

（敬称略）

月日	曜日	1時限 （9：25-10：35）	2時限 （10：50-12：00）	3時限 （13：00-14：10）	4時限 （14：25-15：35）	5時限 （15：50-17：00）	課外 （17：00-）
4/19	木		11:00-12:00 受付 11:30- 昼食 12:30- 開講式・ オリエンテーション	【講義・演習】 住民とのコミュニケーションⅠ 京都造形芸術大学副学長 特定非営利活動法人学習学協会 代表理事 本間　正人			17:30- 交流会
4/20	金	【講義・演習】 住民とのコミュニケーションⅡ 京都造形芸術大学副学長 特定非営利活動法人学習学協会 代表理事 本間　正人			14:10-14:25 閉講、事務連絡		

◎日程は、都合により変更になる場合があります。

（平成30年3月19日現在）

研修担当：[redacted]、[redacted]

平成30年度

出 張 申 請 書

（出 張）

会派名	維新蒼風会	氏名	草刈 与志子
出発・帰庁年月日	出発 30年4月19日	帰庁 30年4月20日	

出張先（順路）　全国市町村国際文化研究所（滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号）

目的及び用件　平成30年度市町村議会議員研修［2日間コース］住民とのコミュニケーション～対話と発信力の向上～に参加

区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津	km			円	円	円	円	円
｜（南海本線）		円	円					
新今宮		380						380
〃								
｜（JR大阪環状線）								
大阪	10.0							
〃								
｜（JR東海道本線）								
山科	48.3 ― 66.8	1,140						1,140
〃								
｜（JR湖西線）								
唐崎	8.5							
〃								
｜（　　線）								
復路		1,520						1,520
｜（　　線）								
							計	3,040
｜（　　線）								
｜（　　線）								
｜（　　線）								
｜（　　線）								
｜（　　線）								
｜（　　線）								

宿泊料：別途、負担金として納入
日　当：滋賀県のため支給なし

主管課用

平成30年度

領収書兼旅費明細書

（出　張）

会派名	維新蒼風会	氏名	草刈　与志子
出発・帰庁年月日	出発　30年4月19日	帰庁　30年4月20日	

出張先（順路）　全国市町村国際文化研究所（滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号）

目的及び用件　平成30年度市町村議会議員研修［2日間コース］住民とのコミュニケーション～対話と発信力の向上～に参加

区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津	km			円	円	円	円	円
｜（南海本線）		円	円					
新今宮		380						380
〃								
｜（JR大阪環状線）								
大阪	10.0							
〃								
｜（JR東海道本線）								
山科	48.3 ～ 66.8	1,140						1,140
〃								
｜（JR湖西線）								
唐崎	8.5							
〃								
｜（　　線）								
復路		1,520						1,520
｜（　　線）								
							計	3,040
｜（　　線）								
｜（　　線）								
｜（　　線）								
｜（　　線）								
｜（　　線）								
｜（　　線）								

宿泊料：別途、負担金として納入
日　当：滋賀県のため支給なし

右の金額領収いたしました。

金額			¥	千	3	0	4	0	円

平成30年4月18日

職名　維新蒼風会

泉大津市会計管理者　殿

氏名　草刈　与志子　印

□決　裁　　■供　覧

受発記号・番号		収受年月日	平成30年8月3日
差出名	草刈　与志子		
あて名	泉大津市議会議長	提出期限	
収受文書の記号		収受文書の日付	平成30年8月3日
件名	報告書		

議長	副議長	事務局長	次長	合議				
主管 次長補佐	議事調査係長	庶務係長	係員					

処　理　上　の　意　見　及　び　注　意　事　項

日　時：平成３０年４月１９日（木）～４月２０日（金）

出張先：公益財団法人　全国市町村研修財団　全国市町村国際文化研修所（JIAM）

目　的：市町村議会議員研修　受講

（研修名　住民とのコミュニケーション～対話と発信力の向上～）

会派代表

報　　告　　書

平成３０　年　８　月　３　日

泉大津市議会議長　様

（会派名）　維新蒼風会
出張者氏名　草　刈　与　志　子　印

下記により出張しましたので、その概要について報告いたします。

記

1.日　　時　　平成30年4月１９日（木）～4月２０日（金）

2.出 張 先　　滋賀県大津市唐崎２－１３－１
公益財団法人　全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所(JIAM)

3.目　　的　市町村議会研修　受講
『住民とのコミュニケーション
～対話と発信力の向上～』

4.報告事項　別紙添付・資料添付

報告事項

4月19日（木）１３：００～１７：００

4月20日（金）　９：２５～１４：１０

元ＮＨＫビジネス英会話の講師であり、現在は京都造形芸術大学の副学長を勤めておられる本間正人先生の講義を受け、住民とのコミュニケーション対話と受発信力の向上について学びました。本間先生が最初に語られたのは、教育学から学習学へ（人間は学習する存在「ホモディスケンス」最新学習歴についてでした。私たちは普段最終学歴こそ気にするが、この直近の学習歴というものにはほとんど関心を払っていない。学習とは、本をどれだけ読んだかというようなものでは必ずしもない。仕事、家庭生活、子育て、人間関係等々に対して私たちはどれだけの関心を払い、どれだけ密接に向き合っているか。そういうことが問われている。教わるということ学ぶという事の違いを反省してみること。

コミュニケーション３つの機能①{理解を増やす、②人間関係に影響を与える（顔をあわせるコミュニケーション、言語コミュニケーション、ジェスチャーコミュニケーション）③信頼関係を築くために、言語コミュニケーションのポイントや大切な人を望むところまで送り届けるコーチングというものを能動的に行うために学びの実践体験として、目隠しした人を言葉だけで誘導するブラインドウォーク、自発性を引き出さないと人は動かない。そのきっかけづくりにその人が一番輝いたヒーロー体験を聞き出す質問をする。ヒーローは、具体的に細かく映像的に話すヒーローインタビューをし合うなど行いました。この中には、傾聴のスキル（あいづち、うなずき、くりかえし）、信頼、承認のスキル(事実をほめる、タイミングよくほめる、心を込めてほめる)任せる、等ができるようになる要素がつまっており、知らない人との距離感をいっきに縮める事が出来ました。議会議員のコミュニケーションにおいてありがちな失敗事例や市民から何を求められているのか、またその対応の事例などもご紹介いただきました。最後に問題解決の方法としてコーチングの進め方。「ＧＲＯＷモデル」Goal 目標の明確化・Reality 現実把握 Resource 資源の発見・Options 選択肢の創造・Will 目標達成の意志

問題解決をするためにブレーンストーミングを行う場合の注意点

数多くのアイディアをだす、否定しない、全員が記録する

2日間の研修を振り返って印象に残ったことは、人は、肯定されれば、考えを述べる。肯定されることで主観的行動を導くことになる。それが多くのアイディアだしとなり問題解決の方法をより前進させる。ということです。議員活動に反映させれるよう努力いたします。

泉大津市

決裁日 30 年 4 月 9 日

支出命令書（一般）

市長	副市長	教育長	部長	次長	課長	課長補佐	係長	担当者
＊＊	＊＊	＊＊	＊＊	＊＊				

会計管理者	会計課長	課長補佐	係長	担当者	入力	財政課合議	検収者	
		＊＊				＊＊		

起票日	平成 30年 4月 6日	所属	080100 市議会事務局		
年度	平成 30 年度	会計	01 一般会計	予算区分	0 現年度

科目		
	款	01 議会費
	項	01 議会費
	目	01 議会費
	事業	040000 議会調査研究事業
	節	19 負担金、補助及び交付金
	細節	90 その他
	細々節	06 政務活動費

		控除			タイムカード(出勤簿)確認	
金額	3,040 円		所得税	0 円		
支払回数	7 回		雇用保険料	0 円	源泉徴収確認	
負担行為額	600,000 円		その他	0 円	被服貸与台帳記載確認	
支出命令済額	38,320 円		控除額合計	0 円	通勤経路及び金額確認	
負担行為残額	561,680 円	請求書番号				
源泉支払内容	**********					

件名	旅費　4/25～4/26　平成30年度市町村議会議員研修　第1回自治体決算の基本と実践
摘要	

債権者等				
	支払方法	21 現金払	支払希望日	平成30年4月24日
	住所			
	名称	維新蒼風会代表者　井阪　正信		
	役職等/ 氏名			
	銀行/ 口座			
	口座名義人		債権者番号	

領収			
	住所		領収印
	氏名	維新蒼風会代表者　井阪 正信	井阪

上記の金額を領収しました。

平成 平成30年4月24日

泉大津市　会計管理者　あて

支払済

支出負担行為確認

001

負担行為番号
30-000190

伝票番号
30-000220

整理番号
30-000007-07

呼出番号
00086773

30 01 01-01-01 04-00-00 19-90-06

3.4-8

供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	係員
覧								

別記様式第５号（第４条関係）

政務活動費交付請求書

平成３０年　４月　６日

泉大津市長
南　出　賢　一　様
（泉大津市議会議長経由）

会 派 名　　維新蒼風会
代表者名　　井阪　正信　　印

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第４条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	３，０４０円		
内訳	4/25～4/26　平成30年度市町村議会議員研修「2日間コース」 第１回自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査～　参加旅費		
支払先	井阪　正信		
予算科目	旅　費	交付残額	561,680円
使用者名	井阪　正信		

全国研第 101 号
平成30年3月20日

大阪府 泉大津市議会議長様

公益財団法人全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所
学長 松 崎 茂
滋賀県大津市唐崎二丁目13番１号

研修受講の決定について

先にお申込みいただきました貴所属議員の研修受講について、次のとおり決定しましたので、お知らせいたします。
つきましては、以下の事項にご留意のうえ、所要の事務手続等についてよろしくお願いします。

氏名	井阪 正信
コース名	平成30年度市町村議会議員研修［２日間コース］第1回自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査～
研修期間	平成30年4月25日（水） ～ 4月26日（木）

1 研修受講に要する経費の納入について

下記金額を指定期間内に指定口座へ振り込んでください。
なお、本決定通知をもって請求書に代えさせていただき、別途請求書は発行しません。

(1) 納入金額：7,300円 〈内訳〉 研修費(@1,200) 2,400円
食費 2,650円
研修生活動費 2,250円

(2) 指定期間: 平成30年4月16日（月） ～ 4月20日（金）

(3) 指定口座：[redacted]

注１） 振込依頼書の「ご依頼人氏名欄」は、必ず貴団体名を記入してください。
注２） 貴団体からの振込通知書の送付は不要です。

平成30年度　市町村議会議員研修[2日間コース]
「第1回自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査～」時間割

（敬称略）

月日	曜日	1時限 (9：25-10：35)	2時限 (10：50-12：00)	3時限 (13：00-14：10)	4時限 (14：25-15：35)	5時限 (15：50-17：00)	課外 (17：00-)
4/25	水		11:00-12:00 受付 11:30- 昼食 12:30- 開講オリエンテーション 入寮オリエンテーション	【講義】 決算の意義と審査のポイント 関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科 教授　稲沢　克祐		【演習】 (15:50-18:00) 途中休憩10分 決算審査の実践	18:15- 交流会
			【講堂】	【講堂】		【講堂】	【大食堂】
4/26	木	【講義】理論編 決算審査の新しいアプローチ 関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科 教授　稲沢　克祐		【講義】実践編 (13:00-15:00)途中休憩10分 行政評価等を用いた 決算審査の実践	15：00-15：15 閉講・事務連絡		
		【講堂】		【講堂】			

◎日程は、都合により変更になる場合があります。

名札：〇色　研修担当：[redacted]

平成30年度

出 張 申 請 書

（出 張）

会派名	維新蒼風会	氏名	井阪 正信
出発・帰庁年月日	出発 30年4月25日	帰庁 30年4月26日	
出張先（順路）	全国市町村国際文化研究所（滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号）		
目的及び用件	平成30年度市町村議会議員研修［2日間コース］第1回自治体決算の基本と実践 ～行政評価を活用した決算審査～に参加		

区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津	km			円	円	円	円	円
｜（南海本線）		円	円					
新今宮		380						380
〃								
｜（JR大阪環状線）								
大阪	10.0							
〃								
｜（JR東海道本線）								
山科	48.3 ～ 66.8	1,140						1,140
〃								
｜（JR湖西線）								
唐崎	8.5							
〃								
｜（　　線）								
復路		1,520						1,520
｜（　　線）								
							計	3,040
｜（　　線）								
｜（　　線）								
｜（　　線）								
｜（　　線）								
｜（　　線）								
｜（　　線）								

宿泊料：別途、負担金として納入
日　当：滋賀県のため支給なし

主管課用

平成30年度

領収書兼旅費明細書

（出　張）

会派名	維新蒼風会	氏名	井阪　正信
出発・帰庁年月日	出発　30年4月25日	帰庁　30年4月26日	
出張先（順路）	全国市町村国際文化研究所（滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号）		
目的及び用件	平成30年度市町村議会議員研修［2日間コース］第1回自治体決算の基本と実践 ～行政評価を活用した決算審査～に参加		

区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津	km			円	円	円	円	円
｜（南海本線）		円	円					
新今宮		380						380
〃								
｜（JR大阪環状線）								
大阪	10.0							
〃								
｜（JR東海道本線）								
山科	48.3 ～ 66.8	1,140						1,140
〃								
｜（JR湖西線）								
唐崎	8.5							
〃								
｜（　　線）								
復路		1,520						1,520
｜（　　線）								
							計	3,040
｜（　　線）								
｜（　　線）								
｜（　　線）								
｜（　　線）								
｜（　　線）								
｜（　　線）								

宿泊料：別途、負担金として納入
日　当：滋賀県のため支給なし

右の金額領収いたしました。

平成 30 年 4 月 24 日

金額	¥3040

職名　維新蒼風会

泉大津市会計管理者　殿

氏名　井阪　正信　印

□決　裁　　■供　覧

受発記号・番号		収受年月日	平成30年5月24日
差出名	井阪　正信		
あて名	泉大津市議会議長	提出期限	
収受文書の記号		収受文書の日付	平成30年5月2日
件名	報告書		

議長	副議長	事務局長	次長	合議				
主管 次長補佐	議事調査係長	庶務係長	係員					

処理上の意見及び注意事項

日　時：平成３０年４月２５日（水）～４月２６日（木）

出張先：公益財団法人　全国市町村研修財団　全国市町村国際文化研修所（JIAM）

目　的：市町村議会議員研修　受講

（研修名　自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査～）

会派代表
井阪

報　　告　　書

平成３０年５月２日

泉大津市議会議長　様

（会派名）　　維新蒼風会
出張者氏名　　井阪　正信

下記により出張しましたので、その概要について報告いたします。

記

1.日　　時　　平成３０年４月２５日（水）～４月２６日（木）

2.出 張 先　　滋賀県大津市唐崎２－１３－１
公益財団法人　全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所(JIAM)

3.目　　的　　市町村議会議員研修　受講
研修名　　「自治体決算の基本と実践」
～行政評価を活用した決算審査～

4.報告事項　　別紙添付・資料添付

報告事項

４月２５日(水) １３:００～１８:００

４月２６日(木)　 9:２５～１５:００

自治体財政・行政評価が専門の関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科教授の稲沢克祐教授を講師として自治体決算についての講義・演習を受けた。　まず、最初に「決算」の大切さを説かれていた。

考え方として、1　財政民主主義　2　決算重視への転換　3　決算審査と予算審議の継続性が重要とのことであった。　　決算審査の意義と審査のポイントについての講義では埼玉県秩父市を事例として進められた。　多くの資料の数字を追いかけること、またポイントの解説を交えながらの講義は充実したものであった。

自治体決算の考え方としての１　財政民主主義については、これは住民が予算を通じて財政をコントロールすることが正しいという考え方に基づき、租税や公債などの歳入歳出の内容について、議会の承認が大切であると共に議員の責任も大きくなるということであった。　2　決算重視への転換については、従来多くの自治体では、決算審査はすでに終わったことを審査するという点において、重視されていないことが多いとされていた。しかし、稲沢先生の講義では、決算審査は予算審査に対しての情報宝庫であるとの考えであった。　3　決算審査と予算審議の継続性の重要性についても、関連性・連続性を持って考えていくとの事であった。

財務書類４表、「賃貸貸借表」　「行政コスト計算書」　「資金収支計算書」　「純資産変動計算書」についての講義において、「賃貸貸借表」では、①次世代に引き継ぐ資産の程度とその財源の負担者について②次世代に先送りの借金の残高について③当年度までに提供済サヘビスで、次世代へ先送りされる負担についてがわかり、「行政コスト計算書」では①経常的な行政サービスに関わったコストについて②受益者負担の割合についてがわかり、「資金収支計算書」では①投資的経費の財源について②支出の負担を先送りにしてないか③年間での資金の変動要因についてがわかり、「純資産変動計算書」では①当年度の行政サービスの世代間の負担状況について②地方債以外の資金調達財源の変化について③資産価値の変動についてがわかった。

次に、「総合計画の基本」は目的と手段であるということ、さらに、

「下位の目的が上位の手段となる」ということを学んだ。

演習においては、二人一組となり、行政コスト計算書からどういった状況なのかを読み解いていくということを実践・発表した。　それぞれの観点からの発表でもあり、そういう考え方もあるのかと感じることができたのは非常に有意義であったと思う。

最後に、今回の研修で決算の重要性を感じた。しかしながらまだまだ勉強を重ねていかなければならないと痛切に感じられました。今後も積極的に研修に参加していきたいと思います。

資料1

（ＪＩＡＭ）
平成３０年4月２５・２６日

『自治体決算の基本と実践』

行政評価を活用した決算審査

稲沢克祐(いなざわ　かつひろ) 博士(経済学) 英国勅許公共財務会計士(CPFA)
関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科　教授
1959年 群馬県生　　1982 年　東北大学卒業
1984年　　東北大学大学院教育学研究科博士課程中退
2006 年 4 月から　関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科　教授
【学会】国際公会計学会、日本公共政策学会、日本地方財政学会、
日本地方自治学会、日本会計研究学会
【専門分野】　地方財政論、行政評価論、公会計論
【著　　書】
・「50 のポイントでわかる　地方議員　予算審議・決算審査ハンドブック」、学陽書房、2018 年
・「一番やさしい地方交付税の本」、学陽書房、2016 年
・「自治体の財政診断と財政計画 - 決算重視による財政マネジメント」学陽書房 2013 年
・「増補版　行政評価の導入と活用 - 予算・決算、総合計画」イマジン出版、2012 年
・「自治体の予算編成改革」（共著）、ぎょうせい、2012 年
・「自治体　歳入確保の実践方法」、学陽書房、2010 年
・「自治体における公会計改革」、同文舘出版、2009 年
・「公会計（新訂版）」、同文舘出版、2009 年
・「自治体の市場化テスト」、学陽書房、2006 年
・「英国地方政府会計改革論」、ぎょうせい、2006 年　　ほか

第１部　自治体決算の基礎

序－１変革の時代：ストックサイクル(ヒト、モノ、カネ)の変化

① ひと：人口減少、高齢社会

【ある基礎的自治体の例】

- 総　人　口：　84,890 人(1959 年)　　⇒　69,386 人(2009 年)　８割
- 児童生徒数：　17,789 人(1960 年)　　⇒　5,886 人(2009 年)　1/3

65 歳以上：　18,337 人（2011 年）高齢化率 26・7%【国　23.2%】

【2050 年人口推計】

- 将来人口の減少：2050 年までに１億人を下回る
- 人口が半減以上する地点が 66%、うち２割は無居住化
- 生産年齢人口(15～64 歳)＋年少人口：60%前後、老年人口：40%前後

② もの：道路や橋、施設も老朽化する

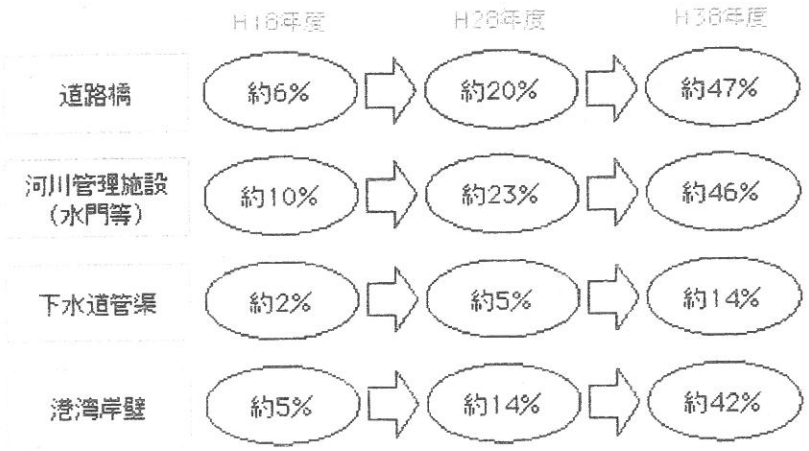
【ある基礎的自治体の例】

- 公共施設の延床面積　28 万３千㎡(人口一人当たり 4.07 ㎡)　【国　3.21 ㎡】
  - ⇒　将来人口が減少する中で、公共施設の床面積は大きい
  - ⇒　今後。40 年間で、約 1060 億円の更新費用が必要(年間：26.5 億円)
  - ⇒　平成 17 年から 21 年までの公共施設関係普通建設事業費：年間 19.9 億円

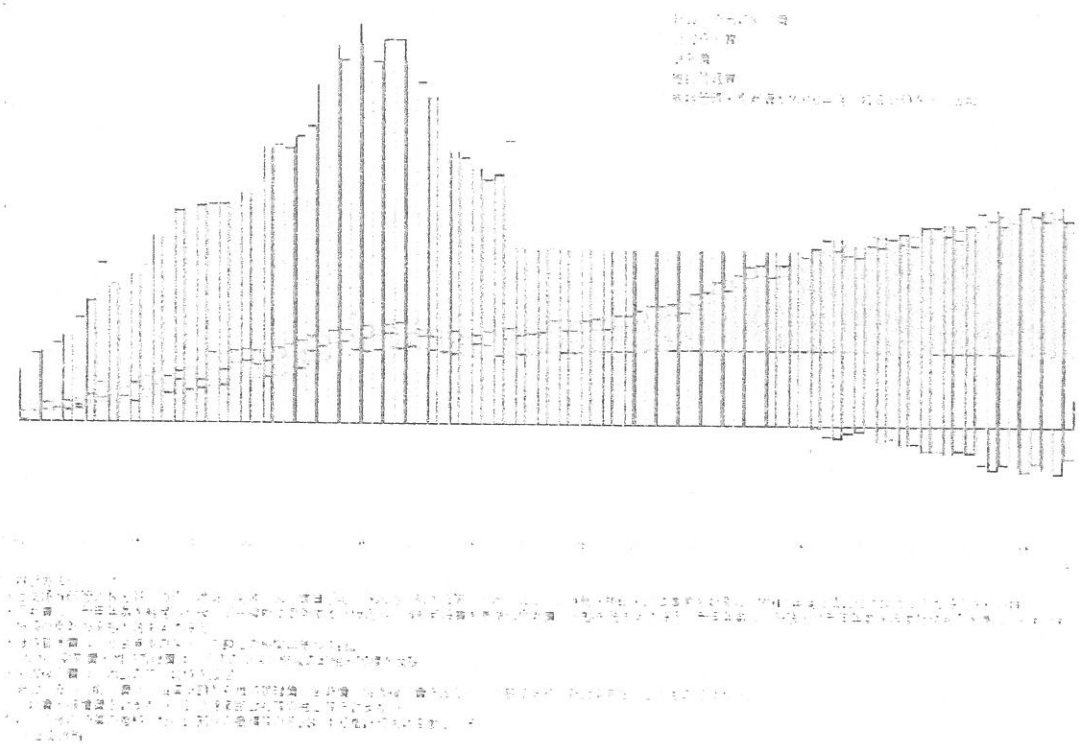
【インフラ資産と公共施設　今後の更新費用】

- 日本全体で、年８．２兆円
- 今後 50 年間で、400 兆円の負担
- 老朽校舎からコンクリートの落下・雨漏り
- 老朽化による通行禁止となった橋(１５m以上)は、2012 年4月で、２１７(２００８年の8割増)．通行規制は１１６２(同７割増)．

図表１－１　建設後 50 年以上経過する社会資本の割合(平成 19 年度国土交通白書)



図表１－２　社会資本の状況(従来どおりの維持管理・更新をした場合の推計)



(出所)国土交通省(2012 年)『平成 23 年度　国土交通白書』図表 152

③　おかね：これからの地方財政の課題

－１　国債残高・地方債残高　合わせて、1,000 兆円を超える

－２　人口減少による財政的インパクト

－３　民生費によるクラウディング・アウト

序―２　平成２６年４・５月の動き

1. 平成２６年４月２２日

総務省：公共施設等総合管理計画の策定を要請

→　インフラ長寿命化計画の地方自治体版

→　「今後３０年程度の人口推計を基にした計画」策定

2. 平成２６年４月３０日

総務省：地方公会計改革における「統一的な基準」の提示

→　地方公会計改革の目的：資産債務改革の進捗を図ること

→　公共施設等総合管理計画との連携を要請

3. 平成２６年５月８日

日本創生会議：「提言　ストップ「人口急減社会」－国民の「希望出生率」の実現、地方中枢拠点都市圏の創生－」

2　自治体決算の基礎

1）予算と決算

（1）　「決算は終わったことだから・・・、これからの予算の方が大切」

⇒　「決算の結果を見て、予算を審議する」

（2）予算項目は全て歳入歳出決算書に

【予算項目】	⇒	【決算項目】
①　歳入歳出予算		歳入歳出決算書
②　継続費		
③　債務負担行為		
④　繰越明許費		
⑤　地方債		

（3）決算から予算へ：連続性で考える

【XX1 年度決算審査(XX 年９月議会)における質問】

「○○○という政策課題について、×××の対応が求められているのではないか」

→　行政側の答弁：「検討します」

ポイント

【XX2年１２月議会における質問】

「検討しますとされた×××については、予算要求されているのか。」

【XX3年度予算審議における質問】

１２月議会の答弁を受けての質問

2）決算の流れ

①　会計管理者による決算調製

②　監査委員による審査・意見

③　議会による審査・認定

④　総務大臣に報告

⑤　住民に公表

3）決算書（法定）

①　歳入歳出決算書

②　歳入歳出決算事項別明細書

③　実質収支に関する調書

④　財産に関する調書

4）議会による決算認定

①　決算書（上記①から④）に加えて

⑤　決算審査意見書（監査委員作成）

⑥　主要な施策の成果報告書

3　法定書類についての用語基礎知識

1）歳入歳出決算書・歳入歳出事項別明細書

（1）歳入予算

① 予算現額＝議決予算（当初・補正）＋繰越事業費充当財源

② 調定額　＝過年度収入未済分＋決算年度調定分

③ 収入済額

④ 不納欠損額

⑤ 収入未済額＝②－③－④　※収入未済額を繰り越した場合、どのような対応？

⑥ 予算現額と収入済額との比較＝①－③

（2）歳出予算

① 予算現額＝議決予算（当初・補正）＋繰越事業費＋予備費充当額

② 支出済額

③ 翌年度繰越額

④ 不用額＝①－②－③

⑤ 予算現額と支出済額との比較＝①－②

2）実質収支に関する調書（詳細は決算カードのところで説明）

① 継続費逓次繰越額：継続費の毎設定年度の執行残額について、継続最終年度まで逓次繰り越して執行すること。

② 繰越明許費繰越額：当該年度内に支出を終わらない見込があるものについて、予算の定めるところにより翌年度に限り繰り越して使用することができるもの。

③ 事故繰越し繰越額：避けがたい事故のため年度内に支出を終わらなかったものを翌年度に繰り越して、使用すること。

3）財産に関する調書

(1) 自治体の財産　図表１－３

公有財産	行政財産	不動産
		船舶、浮標、浮ドック、航空機
		地上権、地役権、鉱業権
		特許権、著作権、商標権、実用新案権
		株式、社債、地方債、国債
		出資による権利
		財産の信託の受益権
	普通財産	（分類は行政財産と同じ）
物品		
債権		
基金		

(2) 公有財産

① 公有財産（土地・建物）
② 公有財産（山林）
③ 公有財産（動産）
④ 公有財産（物権）・（無体財産権）
⑤ 公有財産（有価証券）・（出資による権利）
⇒株券が発行されるものは「有価証券」に、株券が発行されないものは「出資による権利」に記載
⑥ 公有財産(財産の信託の受益権)

(3) 財産に関する調書（債権）の表示について

☆「貸付金」の金額は、貸し付けた額のうち、いまだ返済時期が来ていない部分であり、貸付金の残額では、必ずしもない。

図表１－４　財産に関する調書・債権

前年度末現在高		前の年度までの返済時期を迎えなかった貸付金
決算年度中増減額	増加額	新たに貸し付けた額(その年度中に返済されなかったもの)
	減少額	その年度に返済時期を迎えた貸付金(歳入決算に計上) その年度に返済を免除した貸付金
	増減額	増加額と減少額の差引(財産に関する調書に記載)
決算年度末現在高		その年度までに返済時期を迎えなかった貸付金

※　返済時期が来たのに返済されていない貸付金は、歳入予算の収入未済額に記載

(出所)磯野隆一(2012 年)『一番やさしい自治体決算の本』(学陽書房)P.72 を基に作成

(4) 財産に関する調書（基金）について

- 定額運用基金：土地開発基金
  ：土地を基金の原資金で購入→　一般会計で買い戻し→　当該代金で土地を購入
- 定額運用基金以外の基金
  - ✓ 歳出予算の「積立金」から支出され基金に組み入れられる。
  - ✓ 取り崩しは、歳入予算の「繰入金」で収入される。
  - ✓ 取り崩した基金は、各歳出予算の財源となって、「補助金」、「貸付金」などの科目として計上される。

4　決算審査における着眼点

【基本方針】

〈1〉予算審議（当初・補正）との関連から審査する。

- 予算の執行によって、目指す目的は達成されたのかどうか。
- 予算審議における質疑は、執行の中で遵守されたのかどうか。
- 付帯決議がある場合には、決議内容は実行されたのかどうか。

〈2〉住民の視点から審査する。

- 予算の執行によって財政状況はどのようになったのか。
- 財政状況の好転に向けた行財政改革は進められたのか。
- 財政状況の中で、実施すべき行政サービスは目的を達したのかどうか。

〈3〉全体を捉えてから、細部の議論。まず、木の大きさ(全体の規模)から、枝ぶり(全体の構成)、そして、葉っぱ（各事務事業）を見ていく。

〈あらまし〉

① **歳入に関する審査**

税収入、補助金等、起債、財産・物件の売払収入などについて審査

② **歳出に関する審査**

費目の流用、予備費の充当、予算内の支出、法令に則った支出、歳入減少の際の歳出の処理、一時借入金の利払いと一時借入の理由などについて審査

③ **会計相互間、特別会計に関する事項**

会計間の繰入・繰出、特別会計における弾力条項の適用などについて審査

④ **工事の執行、公共施設など運営に関する審査**

工事の計画どおりの執行、設計変更があった場合の理由、公共施設の整備と管理運営の適切さなどについて審査

⑤ **財政構造の変化に関する審査**

地方債の残高の変化、行政財産・普通財産の増減および管理運営費の増減、財政力の変化などを審査

【視　点】

決算審査においては、財務数値、財産、成果のそれぞれの視点から、まず分析する。

1）財務数値の視点

① 決算規模の年度比較

- 決算規模を前年度と比較する。
- 変化の主たる要因は何か。

② 決算収支の状況の年度比較

- 実質収支に関する調書に示された決算収支の状況を前年度と比較する。
- 変化の主たる要因は何か。

③ 予算の執行状況の分析

- 歳入：予算現額に対する調定額、収入済額、不納欠損額、収入未済額を前年度と比較する。

  ⇒ 大きな変化があった／なかった、ことをどう見るか。
- 歳出：支出済額、翌年度繰越額、不用額等を前年度と比較する。

  ⇒ 大きな変化があった／なかった、ことをどう見るか。
- 決算額の構成比を、款別、項別に見る。
- 歳出については、さらに、目的別、節による性質別に見る。

④ 財政構造の分析

(ア) 歳入の構成：自主財源と依存財源の構成、経常的収入と臨時的収入の構成等

(イ) 歳出の構成：歳出の性質別構成等

(ウ) 財務比率：財政力指数、経常収支比率、経常一般財源比率など。

そして、財政健全化判断比率

⑤ 地方債および債務負担行為の状況

(ア) 地方債現在高の年度間比較

(イ) 債務負担行為による翌年度以降支出予定額の年度間比較等

2）財産の状況

2－1 施設等

① まずは、財産の実在性を確認（どこまで、どのように確認するか）

② 財産に関する調書の増減の内容、その妥当性はどうか。

③ 遊休施設がある場合、適切な対策が検討されているか。

④ 目的外使用されているものがある場合、その使用状況が妥当なものであるといえるかどうか。

⑤ 不法占拠されているものがないか。

⑥ 施設の管理を外部化(指定管理、包括的民間委託、業務委託)している場合、指定管理者・受託先の業務の執行状況はどうか。

⑦ 施設は劣化していないか。

2－2 出資団体等

① 出資団体の検証

- 出資法人が実施している事業の必要性（住民ニーズ）はあるのか。
- 事業の必要性はあっても、行政関与の必要性はあるのか。
- 行政関与の必要性が認められても、出資法人が最適な担い手なのか。

- 出資法人が最適な担い手と認められても、その法人に事業を実施する経営基盤はあるのか。

② 自治体関与の在り方の検証

〈財政的関与の在り方〉

- 補助金による事業の効果
  費用対効果の視点
- 委託料による事業の実績
  随意契約の場合、その妥当性
- 損失補償の状況
  自治体財政健全化法の規定に基づき将来負担比率に算入される一般会計等負担見込額

3）成果の検証

① 行政サービスの当初の目的は達成されたのか。

② 経済性、効率性の観点はどうか。

5　地方財政の用語の理解

歳入：どのように、お金が集まってくるか

地方税：自分で集めて(自主財源)、自由に使える(一般財源)

地方交付税：他人からもらって(依存財源)、自由に使える(一般財源)

国庫支出金：他人からもらって(依存財源)、自由に使えない(特定財源)

地方債　　：　　〃　　、　　〃

図表１－５　自治体の財源

	一般財源(使途は自由)	特定財源(使途に指定あり)
自主財源	地方税	使用料・手数料、寄付金など
依存財源	地方交付税	国庫(県)支出金、地方債

歳出：どのように、お金を使うか

目的別：総務費、民生費、衛生費、農林水産業費、土木費、教育費、公債費(借金返済)

性質別：人件費(給料)、扶助費(生保)、公債費、普通建設事業費(道路や庁舎：単独/補助)

図表１－６　目的別歳出の様子(平成××年度普通会計決算)

	第１位	第２位	第３位	第４位
都道府県	教育費(22.6%)	土木費(19.1%)	公債費(11.7%)	農林水産業費(8.6%)
市町村	民生費(20.4%)	土木費(18.9%)	総務費(12.7%)	公債費(12.3%)

図表１－７　性質別歳出の様子(平成××年度普通会計決算)

	第１位	第２位	第３位	第４位
都道府県	人件費(29.6%)	普建事業費(25.7%)	補助費等(11.7%)	公債費(11.6%)
市町村	普建事業費(22.5)%	人件費(21.7%)	公債費(12.2%)	物件費(11.7%)

第２部　決算カード・財政状況資料集の理解と分析

１　地方財政の用語の復習

歳入：どのように、お金が集まってくるか

地方税：自分で集めて(自主財源)、自由に使える(一般財源)

地方交付税：他人からもらって(依存財源)、自由に使える(一般財源)

国庫支出金：他人からもらって(依存財源)、自由に使えない(特定財源)

地方債　　：　　〃　　、　　〃

図表２－１　自治体の財源

	一般財源(使途は自由)	特定財源(使途に指定あり)
自主財源	地方税	使用料・手数料、寄付金など
依存財源	地方交付税	国庫(県)支出金、地方債

歳出：どのように、お金を使うか

目的別：総務費、民生費、衛生費、農林水産業費、土木費、教育費、公債費(借金返済)

性質別：人件費(給料)、扶助費(生保)、公債費、普通建設事業費(道路や庁舎：単独/補助)

図表２－２　目的別歳出の様子(平成××年度普通会計決算)

	第１位	第２位	第３位	第４位
都道府県	教育費(22.6%)	土木費(19.1%)	公債費(11.7%)	農林水産業費(8.6%)
市町村	民生費(20.4%)	土木費(18.9%)	総務費(12.7%)	公債費(12.3%)

図表２－３　性質別歳出の様子(平成××年度普通会計決算)

	第１位	第２位	第３位	第４位
都道府県	人件費(29.6%)	普建事業費(25.7%)	補助費等(11.7%)	公債費(11.6%)
市町村	普建事業費(22.5)%	人件費(21.7%)	公債費(12.2%)	物件費(11.7%)

２　財政分析　指標解説

（序）自治体の財政規模は、どの程度か

標準財政規模

＝　普通交付税　＋　（基準財政収入額　－　地方譲与税等）×100／75

＋　地方譲与税等

（１）視点１　財政収支：分析の基本

形式収支　＝　歳入決算額　－　歳出決算額

当該年度中に収入された現金(前年度からの繰越金を含み、繰上充用金を除く)と支出された現金の差額。現金主義。

分析：赤字の場合⇒繰上充用

① 国庫支出金が年度内に収入できなかった時又は予定額を下回った時

② 地方債が予定額だけ借入れできなかった時、又は年度内に借入れができなかった時

③ 地方税が景気変動等により予定どおり収入できなかった時

④ その他財政の逼迫のため、収入の絶対的不足を生じているような場合。

実質収支 ＝ 形式収支 － 翌年度へ繰り越すべき財源

発生主義の要素を加味。

実質収支の黒字の考え方

―― 後年度の財源調整に必要な範囲内にとどめ、それ以外は行政水準の向上のためや地方債の繰上償還等に活用すべき。年度間の財政調整を図ること。

【分析の視点】

形式収支が黒字で実質収支が赤字の場合

⇒ 事故繰越の理由

実質収支が黒字の場合

⇒ おおむね、標準財政規模に対して（実質収支比率；以下参照）の3～5%程度が妥当 ⇒ 歳入総額に対して、約1．7%～3%程度

上回っている場合

下回っている場合：年度当初の必要経費等のために必要な現金を確保

実質収支比率 ＝ 実質収支額 ／ 標準財政規模 × 100

実質収支の水準を示す指標。経験的に3～5%程度が望ましいとされる。

標準財政規模 ＝ 普通交付税 ＋ （基準財政収入額 － 地方譲与税等）×100／75 ＋ 地方譲与税等

赤字比率 ： 実質収支比率（マイナス）の絶対値

単年度収支 ＝ 当該年度の実質収支 － 前年度の実質収支

実質収支は以前からの収支の累積。例えば、歳計剰余金の処分として基金繰入額を除いた額は繰越金として当該年度に歳入されて、当該年度の実質収支を増加させる。

【分析の視点】

単年度収支の赤字 ： その原因が単年度限りのものなのか、恒常的な赤字につながる構造的な要因に基づくものなのかを究明すること

← 単年度収支赤字の意味：繰越金を使用する財政運営が行われた

⇒ 繰越金が有効に使われた、ということでもある。

できれば、単年度収支が「0」になっている状態

実質単年度収支　＝　単年度収支　＋　実質的な黒字要素　－　実質的な赤字要素

実質的な黒字要素：財政調整基金積立額、地方債繰上償還額

〃　　赤字要素：財政調整基金取崩額

※　財政悪化は、いつから始まったか。

図表２－４　実質収支比率と実質単年度収支比率

	H23	24	25	26	27	H28	H29
実質収支比率	3.0%	3.0%	3.0%	3.0%	3.0%	0.0%	△3.0%
※　実質赤字は、H29 年度　⇒　財政悪化はH29 年度から？？							
財政調整基金残高	12.0%	9.0%	6.0%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%
実質単年度収支比率	0.0%	△3.0%	△3.0%	△3.0%	△3.0%	△3.0%	△3.0%
※　実質単年度赤字は、H24 から始まっている　⇒　財政悪化はH24 年度から！！							

（２）視点２　弾力性分析：どれだけ機敏に対応できるか　動脈硬化は進んでいるか

経常収支比率

経常一般財源総額と経常経費充当一般財源等との割合

経常的経費Ａ　　経常特定財源Ｂ　　経常一般財源Ｃ

Ａ－Ｂ／Ｃが小さい(大きい)ほど、臨時的経費に充てることのできる経常一般財源が多い(少ない)。

経験的には、町村７０%、都市７５%、これがそれぞれ７５%、８０%を超えると弾力性を失いつつある。

※しかし、現在は、経常収支比率は高止まりの傾向にある

←　理由として考えられるのは、公債費の増加、扶助費の増加、そして、
投資が進んだことにより維持管理経費(維持補修費)が増加したこと、など。

【分析の視点】

経常収支比率に見る原則：経常的支出は経常的収入の範囲内で。

⇒　１００%に近いような場合は、その理由を費目ごとに確認する

- 人件費
- 物件費
- 維持補修費
- 扶助費
- 補助費等
- 公債費

（3）視点3　歳入分析：分権の基本

財政力指数　次の式で求める当該年度前3ヵ年度分の合算額の3分の1

基準財政収入額　／　基準財政需要額

「1」を超えると普通交付税不交付団体。

「1」に近い団体ほど、普通交付税算定に当たっての「留保財源」が大きい

（4）視点4　借金の状況

地方債残高比率　＝　地方債残高　／　標準財政規模

（5）視点5　貯金の状況

積立金比率　＝　積立金残高　／　標準財政規模

2）財政状況の理解のための公表資料

① 決算カード：決算統計の集計結果を各都道府県・市町村ごとの各種財政指標等の状況について、1枚のカードにまとめた資料。

② 財政状況一覧表：一般会計等に加えて企業会計などの特別会計の状況、第三セクター等の経営状況・財政援助等の状況を総合的に公表する資料。

③ 類団団体比較カード：決算カードの項目に対して、類似団体との比較が一覧できる資料。各県のホームページより入手可能。

3　財政分析　事例による理解

（1）図表２－５　収支状況と基金残高との関係　単位：千円

	平成×1年度	平成×2年度	平成×3年度
歳入総額	29,235,566	29,958,865	29,521,472
歳出総額	27,568,541	27,996,085	28,128,288
歳入歳出差引額	1,667,025	1,962,780	1,393,184
翌年度に繰越すべき財源	223,805	169,640	69,070
実質収支	1,443,220	1,793,140	1,324,114
単年度収支	402,037	349,920	−469,026
積立金	606,247	603,968	603,223
繰上償還金	-	20,004	0
積立金取崩し額	600,000	500,000	489,600
実質単年度収支	408,284	473,892	−355,403
実質収支比率	8.4	10.3	7.7
財政調整基金残高	1,620,957	1,724,925	1,838,548
減債基金残高	39,169	246,237	653,721
その他特定目的基金残高	5,085,731	5,765,942	7,233,412

（講師作成）

【分析の視点】

① 実質単年度収支の推移
② 歳入額、財政調整基金残高の推移
③ 歳出額、他の基金残高の推移
④ 単年度収支の推移

1. 一見すると他の財調・特目的が増加していることから将来に向けて何らかの計画があるのではないかと思われる。黒字傾向で推移しているのではないか。

2.

（2）図表２－６　経常収支比率の性質別科目ごと推移　　単位：%

性質別科目	平成×3年度	平成×2年度	類似団体(×2年度)
人件費	22．4	21．6	24．3
扶助費	8．6	8．2	9．4
公債費	15．5	15．3	16．0
(義務的経費計)	46．4	45．1	49．7
物件費	11．9	11．2	14．8
維持補修費	0．4	0．5	1．1
補助費等	14．3	14．6	11．3
うち一部事務組合負担金	10．5	10．9	5．9
繰出金	9．9	9．6	11．9
合計	82．9	81．0	88．9
経常経費充当一般財源等	14,711,035	14,554,152	－

（講師作成）

【分析の視点】
① 経常収支比率の類似団体と当該団体との比較
② 経常収支比率の分母となる経常一般財源等との関連からの比較
③ 科目別の比較①：類似団体よりも規模の大きい数値
④ 科目別の比較②：大きな割合を占める科目の数値

（3）図表２－７　積立金、地方債残高、債務負担行為の支出予定額

（人口１人当たり 円）

区　分	該当市	類似団体
積立金現在高	144,287	95,423
財政調整基金	27,276	37,721
減債基金	9,698	9,655
その他特定目的基金	107,313	48,047
地方債現在高	431,274	394,669
翌年度以降支出予定債務負担	-	44,115

（講師作成）

【分析の視点】
① 積立金現在高の比較
② 財政調整基金残高の比較、減債基金残高の比較
③ その他特定目的基金残高の比較
④ 地方債残高の比較

第３部　公会計制度改革の理解

１　公会計改革理解のための言葉：発生主義、アカウンタビリティ

①　発生主義の導入

認識基準〔測定の時点と認識の対象を決定する基準〕としての発生主義

図表３－１　会計の基礎と測定の焦点

会計の基礎(認識基準)	事象・取引等の測定の時点	認識の対象 (ﾊﾞﾗﾝｽｼｰﾄ計上項目)
現金主義	入金・出金の時点	現預金のみ
修正現金主義	同上 (期末のみ出納整理期間内 の入・出金を認める)	当座の支払手段 (期末のみ出納整理期間内 の入・出金を認める)
修正発生主義	財務資源が増減する時点	財務資源
完全発生主義	事象または取引の発生時	経済資源

(注)経済資源：報告主体が管理し、支配する全ての財務的・非財務的資源のことであり、一般に貸借対照表上に計上される全ての資産・負債をいう。

２）　地方公会計改革の効果と分析の視点

図表３－２　地方公会計改革の効果

住民に対する開示による効果
①　透明性の向上 ● 連結ベースの財政状況・世代間負担の状況等を明示 ● コストと住民(受益者)負担の関係を明示 ● 税金等の財源とその使途を明示
行政経営への活用による効果
②　マネジメント力の向上 〈計画の目標設定・進捗管理〉 ● 自団体のマクロベースの目標設定・進捗管理への活用 〈他団体比較〉 ● 他団体との比較分析により今後の方向性等検討情報として活用 〈行政評価等との連携〉 ● 施策別、事業別、施設別等へ細分化することによる行政評価等との連携 ③　資産・債務の適切な管理 ● 固定資産台帳整備による公有財産管理の実効性・効率性の向上 ● 遊休資産の把握による資産の効果的活用 ● 貸付金・未収金等の台帳整備による収納事務の実効性・効率性の向上

（講師作成）

2　貸借対照表の理解と分析の視点（貸借対照表の中心に）

貸借対照表：会計年度末における財政状態(資産保有状況と財源調達状況)を表す財務書類

図表３－３　貸借対照表の構成

資産の部	負債
1　固定資産	1 固定負債
(1) 事業用資産	(1) 地方債
(2) インフラ資産	(2) 長期未払金
(3) 無形固定資産	(3) 退職手当引当金
(4) 投資及び出資金	(4) 損失補償等引当金
(5) 投資損失引当金	(5) その他
(6) 長期延滞債権	2　流動負債
(7) 長期貸付金	(1) 1年内償還予定地方債
(8) 基金	(2) 未払金
(9) その他	(3) 未払費用
(10)徴収不能債権	(4) 前受金
2　流動資産	(5) 前受収益
(1) 現金預金	(6) 賞与等引当金
(2) 未収金	(7) 預かり金
(3) 短期貸付金	(8) その他
(4) 基金	
(5) 棚卸資産	
(6) その他	
(7) 徴収不能引当金	

純資産
(1) 固定資産等形成分
(2) 余剰分(不足分)

（講師作成）

【分析の視点】

1　固定資産については、事業用資産、インフラ資産について、以下の点を確認。

(1) 事業用資産、インフラ資産の増減の主な理由　示してくる自治体もある。

(2) 事業用資産については、福祉、教育などの目的別の金額と割合

(3) 注記資料の中に示されている普通財産の増減　売却可能資産

⇒ 自治体の資産で大きな割合を占める事業用資産とインフラ資産について、この(1)、(2)、(3)の数値を把握することから、公共資産等総合管理計画の進捗を問う。決算審査時

2　さらに、固定資産では、投資等の科目について、以下の点を確認。秋収支資料P72参照

(4) 投資損失引当金が計上されている場合は、その状況

⇒ この科目が計上されるのは、自治体が50%以上を出資・出えんする団体が深刻な経営悪化に陥っているシグナル。その状況を確認しておく必要がある。

(5) 投資及び出資金の評価の状況

⇒ 出資・出えん割合や経営悪化の度合いなどから、投資損失引当金の対象外であっても、経営が厳しくなっている団体はないかを確認。

(6) 長期延滞債権の主なものは何か。また、年次別金額・件数と滞納繰越収入額の推移

(7) 徴収不能引当金の推移

⇒ 税債権、税外債権、長期貸付金に分けて確認。特に、長期延滞債権は流動資産に計上されている現年債権(未収金)と比較して、徴収率が低くなる傾向がありますから、徴収努力を問う。

3　流動資産では、次の視点を問う。

(8) 現金預金の年次別推移

⇒ 歳計現金の規模が安定的に推移しているか、また、年度末の歳計現金はどの程度が妥当と考えているかを問う。

(9) 未収金の内容(税債権・税外債権)と年次別推移：現年滞納がどのようになっているか。

(10) 徴収不能引当金の推移

⇒ 税債権、税外債権、短期貸付金に分けて年次別推移を確認。短期貸付金については、その内容を確認し、同一の者に繰り返して短期貸付をしていないかを確認

4　固定負債では、次の視点を問う。

(11) 長期未払金の内容は何か。そのうち、債務負担行為によるものと損失補償によるものは、どのようになっているかを確認。

⇒ 債務負担行為によるものでは、物品の購入など、その理由も確認することで、地方債も含めて長期的な自治体負担。また、損失補償契約が履行されて法的に確定した支払額のうち翌々年度以降の支払予定額が計上されている場合は、その理由を確認。

(12) 退職手当引当金について、十分な基金等財源があるかを確認します。

(13) 損失補償引当金は、履行期が確定していない損失補償債務のうち、財政健全化法上、将来負担比率の算定に含められた将来負担額。その主な内容を確認。

4　分析指標による比較分析のために

図表３－８　歳入歳出決算書の説明の限界と財務書類４表

歳入歳出決算書では説明できない部分	対応する財務書類
・次世代に引き継ぐ資産はどの程度あるか ・その財源の負担者は誰か ・特に、次世代に負担を先送りした借金残高はどの程度あるか ・当年度までに提供済み行政サービスについて、次の世代に先送りされた負担(引継ぎ資産のない負担)はどの程度あるか	貸借対照表
・経常的な行政サービスにかかったコストはどの程度か ・受益者負担でどの程度賄われたか	行政コスト計算書
・投資的経費はどの財源で賄っているか ・支出の負担を将来に先送りしていないか ・年間での資金の変動要因は何か	資金収支計算書
・当年度の行政サービスの世代間負担の状況は、どのようになっているか ・借金以外の資金調達財源の変化は、どのようになっているか ・資産価値の変動は？資産台帳整備の影響は、どのようになっているか	純資産変動計算書

図表３－９　財務書類４表の分析の視点

分析の視点	住民等のニーズ	指標
資産形成度	将来世代に残る資産はどれくらいあるのか	➢ 住民一人当たり資産額 ➢ 有形固定資産の行政目的別割合 ➢ 歳入額対資産比率 ➢ 資産老朽化比率
世代間公平性	将来世代と現世代との負担の分担は適切か	➢ 純資産比率 ➢ 社会資本等形成の世代間負担比率(将来世代負担比率)
持続可能性(健全性)	財政に持続可能性があるのか(どれくらい借金があるのか)	➢ 住民一人当たり負債額 ➢ 基礎的財政収支
効率性	行政サービスは効率的に提供されているか	➢ 住民一人当たり行政コスト ➢ 住民一人当たり人件費・物件費等 ➢ 行政コスト対公共資産比率

第４部　行政評価を用いた決算審査

１　行政評価の目的

①　定量的評価⇒業績測定⇒非財務数値の数値化

②　定性的評価⇒ロジック分析⇒妥当性。有効性。効率性の評価

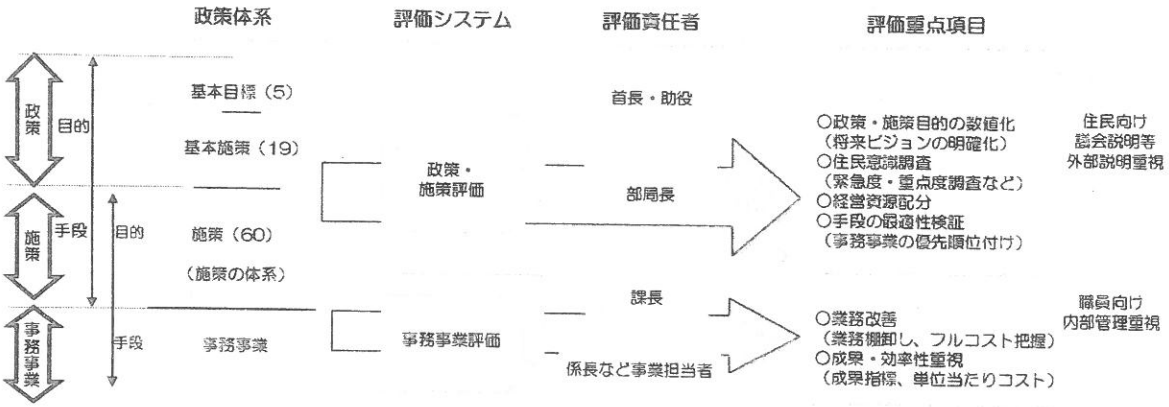
２　政策体系と行政評価

行政評価の活用

⇒　予算編成への活用：事務事業評価⇒さらに、主要な施策の成果報告書

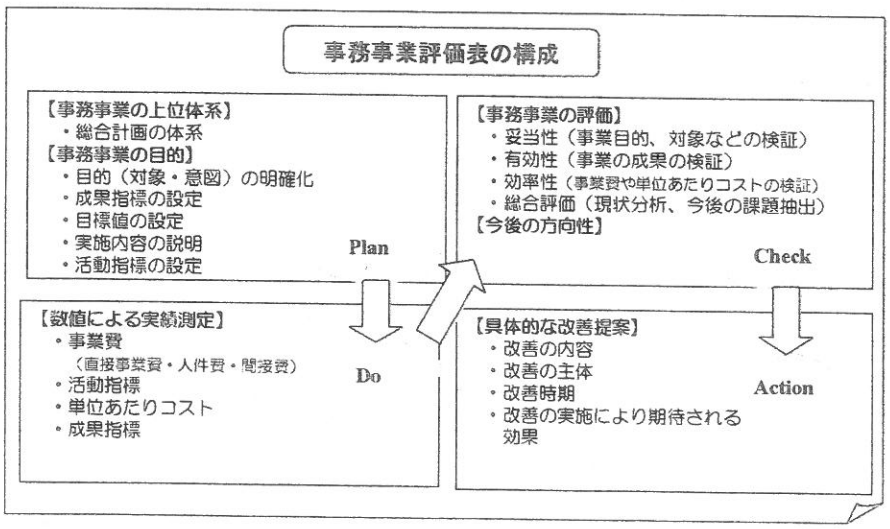
⇒　総合計画の進捗管理への活用　⇒　施策評価

図表４-１　政策体系と行政評価



３　行政評価シートの理解

図表４-２　事務事業評価表の構成



4　定量評価の理解：指標の理解

図表4-3　事務事業評価指標の例(介護ボランティア養成講習会)

資源(財・人)投入 →	活　動 →	結　果 →	成　果
(予算300万円)	(講習会60回)	(300人受講)	(200人実践)

投入指標：投入する資源(人、金、物)
例）投入人員、事業費
活動指標：行政等の活動によって提供されたモノやサービスの量
例）講習会開催回数
成果指標：対象となる住民や地域における状態の変化や出来事
例）ボランティア実践者数

課題？
↓
変化
↓
成果

図表4-4　指標の作成

事業の目的〔対象(誰に対して、何に対して)、手段(どうやって働きかけて)、対象のあるべき姿(対象をどうしたいか)〕

手段を講じた結果　⇒　活動指標(アウトプット指標)
意図を数値で表す　⇒　成果指標(アウトカム指標)

例：介護ボランティア養成講習会開催事業
「介護ボランティアに関心とニーズを持つ市民に対して、ボランティア講習会を開催し、ボランティア活動を実践させる」
◎ キーワード(開催し、実践させる)から、評価指標を作成する
↓
対象：ボランティアに対して関心を持っている市民
手段：ボランティア講習会を開催する→活動指標：講習会開催数
意図：ボランティアを実践させる　→成果指標：実践者数(実践率)
上位の視点：介護者・被介護者の精神的・身体的・経済点負担を軽減する

5　定性評価の理解

（1）ロジックモデルと評価視点　課題を見つける為

図表4-5　事務事業と評価の視点

		効率性				
需　要	⇒	投　入	⇒	活　動	⇒	結　果	⇒	成　果
必要性・妥当性						有効性		

（2）実際の評価シート（次ページ）

図表4-6　名古屋市の事務事業評価表(２００１年から２００８年度)

事務事業評価票

①ソフト事業

事業名	基本健康診査	267	予算費目	会計	一般会計	01
部門	健康	120		款	健康福祉費	03
施策	生涯にわたる心身両面の健康づくり	1		項	保健所費	11
作成部署	健康福祉局健康部健康増進課 09 01 21			目	成人保健費	03
連絡先	972-2637					

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	職域等で受診する機会のない40歳以上の市民	成人保健対策の一環として、脳卒中・心臓病等の循環器疾患を早期に発見し、市民の健康の保持増進に努めます。 成果指標

事業の内容

成人基本健康診査の実施

1　実施場所　保健所（所内・所外）及び市内の委託医療機関
2　受診回数　年１回
3　検査項目　身体計測、理学的検査、血圧、尿、血液検査
　必要に応じて心電図、貧血、ヘモグロビンＡ１ｃ、眼底撮影　手段
4　健診費用　１，０００円　※免除制度有り
5　その他　４０歳・５０歳はなごやか健診として実施（自己負担金無し）

開始年度	昭和　33　年度	根拠法令・要綱等	老人保健法、成人保健対策実施要綱

事業費・人員	15年度決算額	16年度決算額	17年度予算額
事業費（千円）	1,226,165	1,084,845	1,156,111
財源内訳 国・県支出金	308,934	300,613	306,014
財源内訳 地方債			
財源内訳 その他特定財源	32,509	32,694	37,600
財源内訳 一般財源	884,722	751,538	812,497
職員数（人）	20.7	20.0	20.7

計画掲載				
名古屋新世紀計画2010第2次実施計画			有	48　頁
個別計画	はつらつ長寿プランなごや2003			29　頁

事業の実績		単位	15年度	16年度	目標19年度
①	受診者数	人	136,444	139,981	162,000
②			活動指標		

成果指標	事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	15年度	16年度	目標 19年度
①	基本健康診査受診率 〔基本健康診査受診者数／基本健康診査対象者数〕	受診率の向上を図ることにより、生活習慣の改善意識の向上を図っていきます。	%	54 目標（58）	55 目標（59）	60
②	〔　　〕			目標（　）	目標（　）	

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

平成15年度より対象者を国の基準にあわせ40歳以上とするとともに、健診費用についても、国の考え方に沿って一部を負担していただくこととしました。

評価				その他
	必要性	4	循環器疾患を始めとする生活習慣病の早期発見・早期治療のためには、基本健康診査事業は必要かつ有効なものであり、引き続き受診率の向上を図り、市民の生活習慣病の予防に努めていく必要があります。	総合評価
	有効性	3		
	達成度	3		B
	効率性	3		

（3）実際の評価視点の理解

図表4-7　公的関与の範囲に関する説明

下記の1から9のいずれにも該当しない場合は、公的関与が認められないため、必要性の評点は「1」としてください（「事業の妥当性のチェック」は行いません）。

いずれかに該当する場合は、最もふさわしいものを1つだけ選択し、次の「事業の妥当性のチェック」を行ってください。

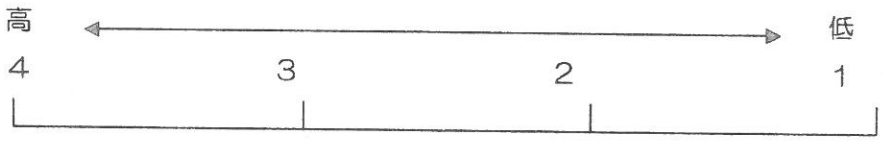
1	法律で実施が義務づけられている事務事業
2	受益の範囲が不特定多数の市民におよび、サービス対価の徴収ができない事務事業
3	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事務事業
4	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために、必要な規制、監視指導、情報提供、相談などを目的とした事務事業
5	個人の力だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網（セーフティー・ネット）を整備する事務事業
6	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事務事業
7	民間のサービスだけでは市域全体にとって望ましい質、量のサービスの確保ができないため、これを補完・先導する事務事業
8	市の個性、特色、魅力を継承・発展・創造し、あるいは国内外へ情報発信することを目的とした事務事業
9	特定の市民や団体を対象としたサービスであって、サービスの提供を通じて、対象者以外の第三者にも受益がおよぶ事務事業

上記に入らなければ
即廃止か民営化であると考えられる

図表４-８　事業の妥当性に関する説明

「公的関与の範囲に関するチェック」で最もふさわしいものをチェックした後、次の質問について該当の有無（はい／いいえ）をチェックしてください。

１　事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。
２　社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。
３　利用者、対象者の減少など市民ニーズの低下傾向が見られる。
４　市民ニーズを上回るサービス提供となっている。
５　国や他都市と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。
６　国や県のサービスと重複している。
７　民間のサービスと競合している。
８　厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。

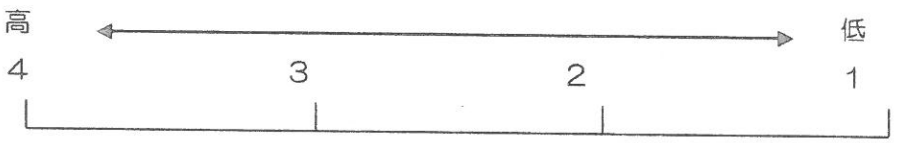


「はい」にあてはまる数が多いほど、必要性の評点は低くなります。

図表４-９　有効性に関する説明

次の質問について、該当の有無（はい／いいえ）をチェックしてください。

１　施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。
２　施策への貢献度が著しく高いとはいえない。
３　施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。
４　事業の継続をしても成果の向上が期待できない。



「はい」にあてはまる数が多いほど、有効性の評点は低くなります。

図表４-１０　効率性のうち「実施主体の妥当性」の説明

次の質問について、該当の有無（はい／いいえ）をチェックしてください。

１　他の実施主体を活用しても市民サービスが低下しない。
２　他の実施主体を活用するとコストの低減が期待できる。
３　他の実施主体が持つノウハウ等を活用できる。
４　他の実施主体を活用しても公平性・公正性、守秘義務が担保され、行政責任が損なわれない。

「はい」にあてはまる数が多いほど、実施主体の検討が必要ということになります。

図表４-１１　効率性のうち「経済性・手法の妥当性」の説明

次の質問について、該当の有無をチェックしてください。

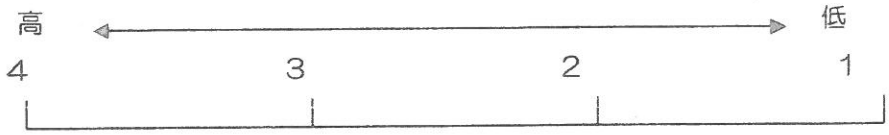
１　単位当たり費用（投入金額／事業実績）が前年度と比較して悪化している。

（※投入金額（事業費決算額＋(担当職員×平均人件費)）
平均人件費は@8,850千円(15年度・16年度とも)です。
※事業実績は、事業の実績欄のうち①に記入した実績をもって計算します。）

２　従事人員の見直しによりコストを下げる余地がある。

３　事務の電子化など事務改善によりコストを下げる余地がある。

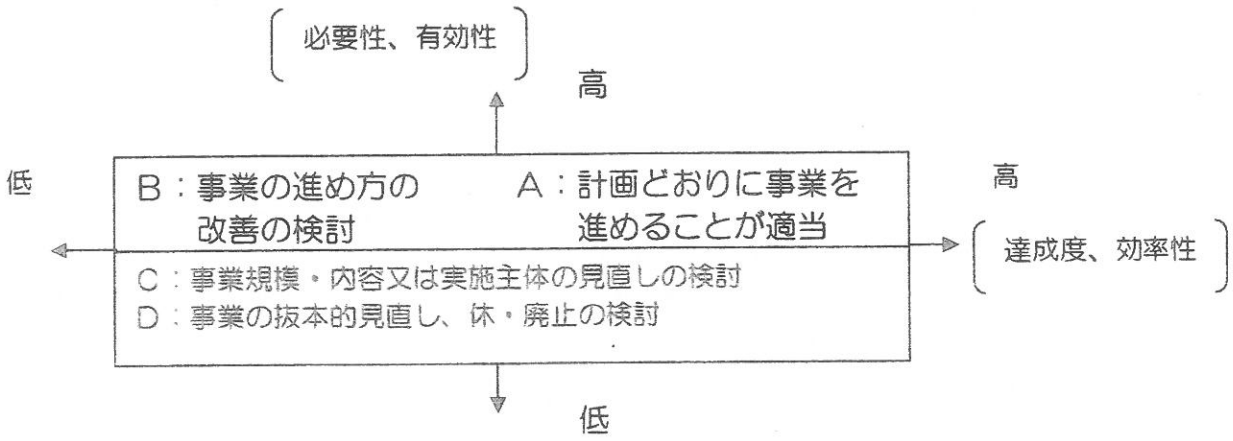
４　契約方法の変更などによりコストを下げる余地がある。



図表４-１２　総合評価の意味

A	計画どおりに事業を進めることが適当
B	事業の進め方の改善の検討
C	事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討
D	事業の抜本的見直し、休・廃止の検討

図表４-１３　総合評価の説明



泉大津市

決裁日　30　年　4月　9　日

支出命令書（一般）

市長	副市長	教育長	部長	次長	課長	課長補佐	係長	担当者
＊＊	＊＊	＊＊	＊＊	＊＊				

会計管理者	会計課長	課長補佐	係長	担当者	入力	財政課合議	検収者	
		＊＊				＊＊		

起票日	平成 30年 4月 6日	所属	080100 市議会事務局
年度	平成 30 年度	会計	01 一般会計
予算区分	0 現年度		

科目		
	款	01 議会費
	項	01 議会費
	目	01 議会費
	事業	040000 議会調査研究事業
	節	19 負担金、補助及び交付金
	細節	90 その他
	細々節	06 政務活動費

金額	3,040 円
支払回数	8 回
負担行為額	600,000 円
支出命令済額	41,360 円
負担行為残額	558,640 円
源泉支払内容	**********

控除		
	所得税	0 円
	雇用保険料	0 円
	その他	0 円
	控除額合計	0 円

請求書番号

タイムカード(出勤簿)確認	
源泉徴収確認	
被服貸与台帳記載確認	
通勤経路及び金額確認	

件名	旅費　4/25～4/26　平成30年度市町村議会議員研修　第1回自治体決算の基本と実践

摘要	

債権者等				
	支払方法	21 現金払	支払希望日	平成30年4月24日
	住所			
	名称	維新蒼風会代表者　井阪　正信		
	役職等/ 氏名			
	銀行/ 口座			
	口座名義人		債権者番号	

領収	住所		領収印
	氏名	維新蒼風会代表者 井阪正信	

上記の金額を領収しました。

平成30年4月24日

泉大津市　会計管理者　あて

支払済

支出負担行為確認

001

負担行為番号
30-000190

伝票番号
30-000221

整理番号
30-000007-08

呼出番号
00086774

30 01 01-01-01 04-00-00 19-90-06

供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	係員
覧								

別記様式第５号（第４条関係）

政務活動費交付請求書

平成３０年　４月　６日

泉大津市長
南　出　賢　一　様
（泉大津市議会議長経由）

会 派 名　　維新蒼風会
代表者名　　井阪　正信　　印

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第４条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	３，０４０円		
内　　訳	4/25～4/26　平成30年度市町村議会議員研修「2日間コース」 第１回自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査～　参加旅費		
支　払　先	草刈　与志子		
予算科目	旅　費	交付残額	558,640円
使用者名	草刈　与志子		

全国研第 101 号
平成30年3月20日

大阪府 泉大津市議会議長様

公益財団法人全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所
学長 松 﨑 茂
滋賀県大津市唐崎二丁目13番１号

研修受講の決定について

先にお申込みいただきました貴所属議員の研修受講について、次のとおり決定しましたので、お知らせいたします。
つきましては、以下の事項にご留意のうえ、所要の事務手続等についてよろしくお願いします。

氏名	草刈 与志子
コース名	平成30年度市町村議会議員研修［２日間コース］第1回自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査～
研修期間	平成30年4月25日（水） ～ 4月26日（木）

1 研修受講に要する経費の納入について

下記金額を指定期間内に指定口座へ振り込んでください。
なお、本決定通知をもって請求書に代えさせていただき、別途請求書は発行しません。

(1) 納入金額：7,300円 〈内訳〉 研修費(@1,200) 2,400円
食費 2,650円
研修生活動費 2,250円

(2) 指定期間: 平成30年4月16日（月） ～ 4月20日（金）

(3) 指定口座：[redacted]

注１） 振込依頼書の「ご依頼人氏名欄」は、必ず貴団体名を記入してください。
注２） 貴団体からの振込通知書の送付は不要です。

受付
第 号
30. 3. 22
泉大津市議会
事務局

平成30年度　市町村議会議員研修[2日間コース]
「第1回自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査～」時間割

（敬称略）

月日	曜日	1時限 (9：25-10：35)	2時限 (10：50-12：00)	3時限 (13：00-14：10)	4時限 (14：25-15：35)	5時限 (15：50-17：00)	課外 (17：00-)
4/25	水		11:00-12:00 受付 11:30- 昼食 12:30- 開講オリエンテーション 入寮オリエンテーション	【講義】 決算の意義と審査のポイント 関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科 教授　稲沢　克祐		【演習】 (15:50-18:00) 途中休憩10分 決算審査の実践	18:15- 交流会
			【講堂】	【講堂】		【講堂】	【大食堂】
4/26	木	【講義】理論編 決算審査の新しいアプローチ 関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科 教授　稲沢　克祐		【講義】実践編 (13:00-15:00)途中休憩10分 行政評価等を用いた 決算審査の実践	15：00-15：15 閉講・事務連絡		
		【講堂】		【講堂】			

◎日程は、都合により変更になる場合があります。

名札：○色　研修担当：[redacted]

平成30年度

出 張 申 請 書

（出 張）

会派名	維新蒼風会	氏名	草刈 与志子
出発・帰庁年月日	出発 30年4月25日	帰庁 30年4月26日	
出張先（順路）	全国市町村国際文化研究所（滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号）		
目的及び用件	平成30年度市町村議会議員研修［2日間コース］第1回自治体決算の基本と実践 ～行政評価を活用した決算審査～に参加		

区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津	km			円	円	円	円	円
｜（南海本線）		円	円					
新今宮		380						380
〃								
｜（JR大阪環状線）								
大阪	10.0							
〃								
｜（JR東海道本線）								
山科	48.3 ～ 66.8	1,140						1,140
〃								
｜（JR湖西線）								
唐崎	8.5							
〃								
｜（　　線）								
復路		1,520						1,520
｜（　　線）								
							計	3,040
｜（　　線）								
｜（　　線）								
｜（　　線）								
｜（　　線）								
｜（　　線）								
｜（　　線）								

宿泊料：別途、負担金として納入
日　当：滋賀県のため支給なし

主管課用

平成30年度

領収書兼旅費明細書

（出　張）

会派名	維新蒼風会	氏名	草刈　与志子
出発・帰庁年月日	出発　30年4月25日	帰庁　30年4月26日	
出張先（順路）	全国市町村国際文化研究所（滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号）		
目的及び用件	平成30年度市町村議会議員研修［2日間コース］第1回自治体決算の基本と実践 ～行政評価を活用した決算審査～に参加		

区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津	km			円	円	円	円	円
｜（南海本線）		円	円					
新今宮		380						380
〃								
｜（JR大阪環状線）								
大阪	10.0							
〃								
｜（JR東海道本線）								
山科	48.3 ～ 66.8	1,140						1,140
〃								
｜（JR湖西線）								
唐崎	8.5							
〃								
｜（　　線）								
復路		1,520						1,520
｜（　　線）								
							計	3,040
｜（　　線）								
｜（　　線）								
｜（　　線）								
｜（　　線）								
｜（　　線）								
｜（　　線）								

宿泊料：別途、負担金として納入
日　当：滋賀県のため支給なし

右の金額領収いたしました。

金額	¥3040

平成 30 年 4 月 24 日

職名　維新蒼風会

泉大津市会計管理者　殿

氏名　草刈　与志子　印

□決　裁　　■供　覧

受発記号・番号		収受年月日	平成30年8月3日
差　出　名	草刈　与志子		
あ　て　名	泉大津市議会議長	提出期限	
収受文書の記号		収受文書の日付	平成30年8月3日
件　名	報告書		

議長	副議長	事務局長	次長	合議				
主管 次長補佐	議事調査係長	庶務係長	係員					

処　理　上　の　意　見　及　び　注　意　事　項

日　時：平成３０年４月２５日（水）～４月２６日（木）

出張先：公益財団法人　全国市町村研修財団　全国市町村国際文化研修所（JIAM）

目　的：市町村議会議員研修　受講

（研修名　自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査～）

会派代表

報　　告　　書

平成３０　年　８　月　３　日

泉大津市議会議長　様

（会派名）　維新蒼風会
出張者氏名　草　刈　与　志　子

下記により出張しましたので、その概要について報告いたします。

記

1.日　　時　　平成 30 年４月２５日（水）～４月２６日（木）

2.出 張 先　　滋賀県大津市唐崎２－１３－１
公益財団法人　全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所(JIAM)

3.目　　的　市町村議会研修　受講
『自治体決算の基本と実践
～行政評価を活用した決算審査～』

4.報告事項　別紙添付・資料添付

報告事項

4月２５日（水）１３：００～１８：００

4月２６日（木）　９：２５～１５：００　（欠席）

関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科教授　稲沢克祐経済学博士の講義「自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査～」を受講。

自治体決算の基本と実践として、変革の時代に突入し２０５０年、のち約30年、人口が半減以上する地点が６６％、うち２割は無居住化し、道路や橋、施設も老朽化する。インフラ資産と公共施設の今後の更新費用からこれからの地方財政の課題は、国債、地方債残高があわせて１０００兆円を超え、人口減少により財政的には影響、衝撃をうけ、クラウディング・アウト（民生費による国債の大量発行から公的資金需要と民間資金需要に競合を生じさせ、民間の資金供給が押し出されることになる。民間資金が抑制、供給不足となり物価が上昇し続ける現象が起こりやすくなる。このインフレが行き過ぎると経済破綻してしまう。）

国は、地方自治体に平成26年、公共施設等総合管理計画の策定要請としてインフラ長寿命化計画の地方自治体版と今後30年程度の人口推計を基にした計画策定を求め、地方公会計改革における統一的基準の提示として地方公会計改革の資産債務改革の進捗を図ることと公共施設等総合管理計画との連携を求めた。

日本創生会議は、ストップ人口急減社会、国民の希望出生率の実現、地方中枢拠点都市圏の創生を提言した。この様な事を踏まえ、自治体決算のあり方を考えなければならない。自治体決算の基礎、法定書類についての用語基礎知識、決算審査における着眼点、視点、決算カード・財政状況資料集の理解と分析、指標の解説、財政分析事例による説明をしていただきました。

資料をいただき、参考図書などもお聞かせいただいたので、決算審査時には、資料等を有効に活用したいと思います。

2日目は、体調不良により受講を断念し欠席となりました。以後体調管理は、充分に注意いたします。申し訳ございませんでした。

泉大津市

決裁日　30 年 5 月 21日

支出命令書（一般）

市長	副市長	教育長	部長	次長	課長	課長補佐	係長	担当者
＊＊	＊＊	＊＊	＊＊	＊＊				

会計管理者	会計課長	課長補佐	係長	担当者	入力	財政課合議	検収者	
		＊＊		＊＊		＊＊		

起票日	平成 30年 4月 27日	所属	080100 市議会事務局
年度	平成 30 年度	会計	01 一般会計
予算区分	0 現年度		

科目		
	款	01 議会費
	項	01 議会費
	目	01 議会費
	事業	040000 議会調査研究事業
	節	19 負担金、補助及び交付金
	細節	90 その他
	細々節	06 政務活動費

		控除		
金額	58,968 円	所得税	0 円	タイムカード(出勤簿)確認
支払回数	9 回	雇用保険料	0 円	源泉徴収確認
負担行為額	600,000 円	その他	0 円	被服貸与台帳記載確認
支出命令済額	100,328 円	控除額合計	0 円	通勤経路及び金額確認
負担行為残額	499,672 円	請求書番号		
源泉支払内容	**********			

件名	資料費　D-file（2018年4月号～2019年3月号）、Beacon　Vol.74～Vol.77
摘要	平成30年5月16日

債権者等				
	支払方法	21 現金払	支払希望日	~~平成30年5月15日~~
	住所			
	名称	維新蒼風会代表者　井阪　正信		
	役職等/ 氏名			
	銀行/ 口座			
	口座名義人		債権者番号	

領収			
住所		領収印	井阪
氏名	維新蒼風会代表者　井阪　正信		

上記の金額を領収しました。　~~平成30年5月15日~~　平成30年5月16日

支払済

平成　年　月　日

泉大津市　会計管理者　あて

支出負担行為確認

No. 001

負担行為番号
30-000190

伝票番号
30-000925

呼出番号
00094021

整理番号
30-000007-09

30 01 01-01-01 04-00-00 19-90-06

30.5.-2

供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	係員
覧								

別記様式第５号（第４条関係）

政務活動費交付請求書

平成３０年４月 23日

泉大津市長
南　出　賢　一　　様
（泉大津市議会議長経由）

会派名　維新蒼風会
代表者名　井阪正信　印

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第４条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	５８，９６８円		
内訳	D-file（2018年４月号～2019年３月号） Beacon　Vol.74～Vol.77		
支払先	イマジン出版株式会社		
予算科目	資料費	交付残額	499,672円
使用者名	維新蒼風会		

No. 28803

ご案内

2018年04月10日　頁 1

〒595-0012
大阪府泉大津市北豊中町1-4-4

泉大津市議会議員　井阪　正信 様

イマジン出版株式会社
代表取締役 片岡幸三
〒112-0013 東京都文京区音羽1-5-8
TEL 03-3942-2520
FAX 03-3942-2623

ご購読いただきありがとうございます。

拝啓

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
この度は、小社刊行の自治体情報誌[ディーファイル]を
ご購入いただきましてありがとうございます。
ご請求書をお送りいたしますのでご査収下さい。
今後とも、ご愛読のほどよろしくお願い申し上げます。

〇お支払いについて〇
代金のお支払いは同封の郵便振替票をご利用くださるか、
下記の銀行口座をご利用ください。
銀行振込みをご利用の際の手数料はお客様のご負担を
お願い致します。郵便振替手数料は小社負担です。
□■□■□■□■お振込先□■□■□■□■

みずほ銀行　江戸川橋支店

普通口座　1327831

イマジン出版株式会社

□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■

御見積書

No. 28803

2018年04月10日　頁 1

泉大津市議会議員　井阪　正信 様

下記の通り御見積り申し上げます。

¥58,968

イマジン出版株式会社
代表取締役 片岡幸三
〒112-0013 東京都文京区音羽1-5-8
TEL 03-3942-2520
FAX 03-3942-2623

行	商品名	部数	定価		合計金額
1	D-file 2018年4月発行号 上・下	2	2,430		4,860
2	D-file 2018年5月発行号 上・下	2	2,430		4,860
3	D-file 2018年6月発行号 上・下	2	2,430		4,860
4	D-file 2018年7月発行号 上・下	2	2,430		4,860
5	D-file 2018年8月発行号 上・下	2	2,430		4,860
6	D-file 2018年9月発行号 合本	1	3,024		3,024
7	D-file 2018年10月発行号 上・下	2	2,430		4,860
8	D-file 2018年11月発行号 上・下	2	2,430		4,860
9	D-file 2018年12月発行号 上・下	2	2,430		4,860
10	D-file 2019年1月発行号 上・下	2	2,430		4,860
11	D-file 2019年2月発行号 合本	1	3,024		3,024
12	D-file 2019年3月発行号 上・下	2	2,430		4,860
13	Beacon Vol.74(夏号),Vol.75(秋号),Vol.76(冬号),Vol.77(春号)	4	1,080		4,320
14					
15					
摘要	合計	26			58,968

納品書

No. 28803　　2018年04月10日　頁 1

泉大津市議会議員　井阪　正信 様

イマジン出版株式会社
代表取締役 片岡幸三
〒112-0013 東京都文京区音羽1-5-8
TEL 03-3942-2520
FAX 03-3942-2623

下記の通り納品致します。

¥58,968

行	商品名	部数	定価		合計金額
1	D-file 2018年4月発行号 上・下	2	2,430		4,860
2	D-file 2018年5月発行号 上・下	2	2,430		4,860
3	D-file 2018年6月発行号 上・下	2	2,430		4,860
4	D-file 2018年7月発行号 上・下	2	2,430		4,860
5	D-file 2018年8月発行号 上・下	2	2,430		4,860
6	D-file 2018年9月発行号 合本	1	3,024		3,024
7	D-file 2018年10月発行号 上・下	2	2,430		4,860
8	D-file 2018年11月発行号 上・下	2	2,430		4,860
9	D-file 2018年12月発行号 上・下	2	2,430		4,860
10	D-file 2019年1月発行号 上・下	2	2,430		4,860
11	D-file 2019年2月発行号 合本	1	3,024		3,024
12	D-file 2019年3月発行号 上・下	2	2,430		4,860
13	Beacon Vol.74(夏号),Vol.75(秋号),Vol.76(冬号),Vol.77(春号)	4	1,080		4,320
14					
15					
摘要	合計	26			58,968

請求書

No. 28803　　2018年04月10日　頁 1

泉大津市議会議員　井阪　正信 様

イマジン出版株式会社
代表取締役 片岡幸三
〒112-0013 東京都文京区音羽1-5-8
TEL 03-3942-2520
FAX 03-3942-2623

下記の通り御請求申し上げます。

¥58,968

行	商品名	部数	定価		合計金額
1	D-file 2018年4月発行号 上・下	2	2,430		4,860
2	D-file 2018年5月発行号 上・下	2	2,430		4,860
3	D-file 2018年6月発行号 上・下	2	2,430		4,860
4	D-file 2018年7月発行号 上・下	2	2,430		4,860
5	D-file 2018年8月発行号 上・下	2	2,430		4,860
6	D-file 2018年9月発行号 合本	1	3,024		3,024
7	D-file 2018年10月発行号 上・下	2	2,430		4,860
8	D-file 2018年11月発行号 上・下	2	2,430		4,860
9	D-file 2018年12月発行号 上・下	2	2,430		4,860
10	D-file 2019年1月発行号 上・下	2	2,430		4,860
11	D-file 2019年2月発行号 合本	1	3,024		3,024
12	D-file 2019年3月発行号 上・下	2	2,430		4,860
13	Beacon Vol.74(夏号),Vol.75(秋号),Vol.76(冬号),Vol.77(春号)	4	1,080		4,320
14					
15					
摘要	合計	26			58,968

振込口座 みずほ銀行 江戸川橋支店(普)1327831

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	※	0	0	1	0	0	―	※	6	通常払込料金加入者負担					
	※				3	4	7	4	9						
加入者名	※	イマジン出版株式会社													
金額		千	百	十	万	千	百	十	円						
	※			¥	5	8	9	6	8						
ご依頼人	※	大阪府泉大津市北豊中町1-4-4 泉大津市議会議員　井阪　正信　様 様													
料金															
備考															

日附印

30-04-12
泉大津曽根
郵便局

(40107)
N94210004

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

この受領証は、大切に保管してください。

泉大津市

決裁日 30年5月8日

支出命令書（一般）

市長	副市長	教育長	部長	次長	課長	課長補佐	係長	担当者
＊＊	＊＊	＊＊	＊＊	＊＊				

会計管理者	会計課長	課長補佐	係長	担当者	入力	財政課合議	検収者	
		＊＊	＊＊			＊＊		

起票日	平成 30年 5月 8日	所属	080100 市議会事務局
年度	平成 30 年度	会計	01 一般会計
予算区分	0 現年度		

科目	
款	01 議会費
項	01 議会費
目	01 議会費
事業	040000 議会調査研究事業
節	19 負担金、補助及び交付金
細節	90 その他
細々節	06 政務活動費

		控除			
金額	22,644 円		所得税	0 円	タイムカード(出勤簿)確認
支払回数	10 回		雇用保険料	0 円	源泉徴収確認
負担行為額	600,000 円		その他	0 円	被服貸与台帳記載確認
支出命令済額	122,972 円		控除額合計	0 円	通勤経路及び金額確認
負担行為残額	477,028 円	請求書番号			
源泉支払内容	**********				

件名	資料費　公明新聞購読料（平成30年4月～平成31年3月分）
摘要	

債権者等			
支払方法	21 現金払	支払希望日	平成30年5月18日
住所			
名称	維新蒼風会代表者　井阪　正信		
役職等/ 氏名			
銀行/ 口座			
口座名義人		債権者番号	

領収			
住所		領収印	
氏名	維新蒼風会代表者　井阪 正信		

上記の金額を領収しました。

平成 平成30年5月18日

泉大津市　会計管理者　あて

支払済

支出負担行為確認

001 負担行為番号
30-000190

伝票番号
30-001290

呼出番号
00097060

整理番号
30-000007-10

30 01 01-01-01 04-00-00 19-90-06

30.5. 8

供覧	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	係員

別記様式第５号（第４条関係）

政務活動費交付請求書

平成３０年 4 月 24 日

泉大津市長
南　出　賢　一　　様
（泉大津市議会議長経由）

会派名　維新蒼風会
代表者名　井阪正信

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第４条の規定により、下記のとおり政務調査費を請求します。

記

交付請求額	２２，６４４円		
内　　訳	公明新聞購読料（平成３０年４月～平成３１年３月分）		
支　払　先	販売店　松岡賢慈		
予算科目	資料費	交付残額	477,028円
使用者名	維新蒼風会		

公明新聞購読料　請求書

維新蒼風会（井阪　正信）　様

ご購読ありがとうございます。

請求日　２０１８年４月２３日

２０１８／０４月～２０１９／０３月分

請　求　金　額	￥２２，６４４

品　　名	定価（税込）	部　　数	金　　額
公明新聞	１８８７	１２	２２６４４

上記の通りご請求申し上げます。

振込先：[redacted]

名義 [redacted]

販売店　松岡　賢慈

住所　高石市羽衣２丁目１番１２号

ＴＥＬ０７２－２６７－０５０６　ＦＡＸ０７２－２６７－０５１５

お申込Ｎｏ．２７５２５

公明新聞購読料　領収書

維新蒼風会（井阪　正信）　様

ご購読ありがとうございます。
下記金額を正に領収いたしました。

2018年4月分～2019年3月　　領収日 4月24日

	¥22,644

品名	定価(税込)	部数	金額
公明新聞	1,887	12	22,644

販売店　松岡　賢慈
住所　高石市羽衣２－１－１２
ＴＥＬ　072-267-0506　ＦＡＸ　072-267-0515

お申込No　27525

[redacted]